

大正四年六月一日(火曜日)

午前十時六分開議

議事日程 第五號 大正四年六月一日

午前十時開議

- 第一 河川法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第二 華族世襲財產法改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 法人ノ役員處罰ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第五 治水費資金特別會計法廢止法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第六 大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第七 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第八 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第九 大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔成瀬書記官朗讀〕

去月二十九日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

同日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

- 第一分科主査 伯爵柳澤 保惠君 第二分科主査 伯爵柳原 義光君
- 第三分科主査 男爵久保田 讓君 第四分科主査 男爵村上敬次郎君
- 第五分科主査 男爵武井 守正君 第六分科主査 小松原英太郎君

同日豫算委員副委員長ヨリ豫算委員分科擔當委員ノ兼務ヲ左ノ如ク決定セラル旨ノ報告書ヲ提出セリ

第二分科兼務

第一分科擔當委員 伯爵 柳澤 保惠 君

昨三十一日內閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

政府委員

法制局參事官 馬場 鏌 一 君

司法省所管事務政府委員

司法省參事官 山内確三郎 君

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

華族世襲財產法改正法律案

法人ノ役員處罰ニ關スル法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

無線電信法案特別委員會

委員長 伯爵奧平 昌 恭君 副委員長 男爵有地 品之允君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

鐵道敷設法中改正法律案

治水費資金特別會計法廢止法律案

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

帝國鐵道會計法中改正法律案

國債整理基金特別會計法中改正法律案

大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、無線電信法案特別

委員長奧平伯爵ヨリ、特別委員會ヲ開キマスニ付テ議場ヨリ退席ヲシタイト云フ要求ガ議長ノ手許ヘ出マシタ、許可イタシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、河川法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ總テ省略イタシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

河川法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正四年五月二十八日

衆議院議長島田三郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

河川法中左ノ通改正ス
第二十六條中「地租額十分ノ一」ヲ「地價總額千分ノ二箇半」ニ、地租額ヲ超過スル部分」ヲ「地價總額百分ノ二箇半ヲ超過スル部分」ニ、「前項」ヲ「第一項」ニ改メ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ニ於テ地價ト稱スルハ其ノ年分地租ヲ徵收スヘキ土地ノ一月一日現在地價ヲ謂フ

〔國務大臣子爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵大浦兼武君) 唯今議題ニ上リマシタ河川法ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、河川法ノ施行セラレタル以後、河川ノ改良工事ニ對スル國庫ノ補助額、又ハ國庫ト關係府縣トノ分擔額ヲ定ムルニハ、河川法ノ規定ニ依リマシテ、其府縣ノ地租額ヲ標準トシテ算出イタシタルモノデゴザイマシタ、然ルニ明治四十三年ノ地租條例改正ノ結果ニ依リマシテ、其稅率加重セラレ、從ッテ其府縣ノ負擔額著シク増加サレマシタノデゴザイマス、茲ニ於テ地方ノ負擔上其權衡ヲ保タシムル爲ニ此度河川法中ノ一部ヲ改正スルノ必要ヲ認メマシタノデゴザイマス、ソレデ此案ヲ茲ニ提出イタシタノデゴザイマスカラシテ、ソレデ此案ヲ茲ニ提出イタシタノデゴザイマスカラシテ、何卒宜シク御協賛アラムコトヲ希望イタシマス
○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕
河川法中改正法律案特別委員
侯爵花山院親家君 子爵野村 益三君 小野田 元熙君
男爵杉 溪 言長君 渡 正 元君 男爵安藤 直雄君
千頭 清 臣君 細谷 巖太郎君 木村 誓太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、華族世襲財產法改正法律案、政府提出、第一讀會
華族世襲財產法改正法律案
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
大正四年五月三十一日

右
內閣總理大臣 伯爵大隈 重信
司法大臣 尾崎 行雄

華族世襲財產法
第一條 有爵者ハ世襲財產ヲ設定シ又ハ之ヲ増加スルコトヲ得
第二條 世襲財產ノ設定又ハ増加ハ遺言ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
第三條 有爵者カ未成年者、禁治產者又ハ準禁治產者ナルトキハ世襲財產ヲ設定又ハ増加スルコトヲ得ス
第四條 世襲財產ハ家寶、不動産、登録國債又ハ有價證券ニ限ル
第五條 世襲財產ヲ設定又ハ増加セムトスルトキハ其ノ財產ノ目錄ヲ添ヘ宮内大臣ニ認可ヲ申請スヘシ
第六條 第二條ノ場合ニ於テ遺言者カ遺言執行者ヲ指定セサリシトキ又ハ其ノ指定ヲ第三者ニ委託セサリシトキハ家督相續人又ハ其ノ法定代理人ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
第七條 前條ノ申請アリタルトキハ宮内大臣ハ目錄ニ記載シタル財產ヲ世襲財產ト爲スノ當否ヲ調査スヘシ
前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ宮内大臣ハ目錄以外ノ財產ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得
第七條 宮内大臣ハ前條ノ調査ニ依リ支障ナシト認メタル財產ニ付第五條ノ認可ノ申請アリタル旨ヲ二週間公告スヘシ

前項ノ公告ニハ土地ニ付テハ其ノ所在地目及面積、建物ニ付テハ其ノ所在種類構造及建坪、其ノ他ノ物件ニ付テハ其ノ品目種類箇數其ノ他必要ナル事項ヲ掲クヘシ

第八條 前條ノ規定ニ依リ公告シタル財産ニ關シ所有權又ハ擔保權ヲ主張セムトスル者ハ前條第一項ノ公告期間滿了ノ後二月内ニ異議ヲ宮内大臣ニ申出ツヘシ

世襲財産ノ設定又ハ増加ノ認可ハ前項ノ期間滿了ノ後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 世襲財産ノ設定又ハ増加ノ認可アリタル後ハ前條第一項ノ權利ハ判決又ハ認可前ノ日附アル公正證書ニ依リテノミ之ヲ主張スルコトヲ得

第十條 宮内大臣ハ世襲財産ノ設定又ハ増加ヲ認可シタルトキハ其ノ旨及第七條第二項ニ掲ケタル事項ヲ公告スヘシ

第十一條 宮内大臣ハ華族世襲財産臺帳ヲ設ケ世襲財産ニ關スル事項ヲ登録スヘシ

第十二條 世襲財産中登録國債アルトキハ國債登錄簿ニ世襲財産タル旨ヲ登録シ有價證券アルトキハ宮内大臣ハ之ニ世襲財産タル旨ヲ記入スヘシ

第十三條 世襲財産ハ家督相續人ノ相續ス

第十四條 世襲財産ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ノ目的トスルコトヲ得ス世襲財産ノ法定果實ヲ收取スル權利ニ付亦同シ

世襲財産ニ付地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定又ハ變更セムトスルトキハ宮内大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 世襲財産ハ之ヲ民事上ノ強制執行ノ目的ト爲スコトヲ得ス世襲財産ノ果實ニシテ他ノ財産ト混合セサル間亦同シ

第十六條 世襲財産ハ確實有利ナル世襲財産ニ換フル爲又ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り宮内大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ全部又ハ一部ヲ廢止スルコトヲ得

第十七條 第三條及第五條ノ規定ハ世襲財産ノ廢止ニ之ヲ準用ス

第十八條 世襲財産ハ爵ノ喪失ト共ニ其ノ效力ヲ失フ

第十九條 世襲財産ニ付第九條ノ規定ニ依ル權利ノ主張アリタルトキハ其ノ世襲財産ハ效力ヲ失フ

其ノ旨ヲ公告スヘシ

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テハ登録國債又ハ有價證券ニ付第十二條ノ登録又ハ記入ヲ抹消スヘシ

第二十條 世襲財産ニ關スル公告ノ費用ハ其ノ名義人ノ負擔トス

第二十一條 宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ世襲財産ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 本法ノ施行ニ關スル規程ハ宮内大臣之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依ル世襲財産及其ノ附屬物ハ本法ニ依ル世襲財産ト看做ス

不動産登記法第四百三條中「華族世襲財産ノ解除ヲ認可シタルトキハ」ヲ「華族世襲財産ノ廢止又ハ失効アリタルトキハ」ニ改ム

〔國務大臣伯爵大隈重信君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 諸君、華族世襲財産法改正ノ理由ヲ簡單ニ説明イタシマス、御承知ノ通りニ華族世襲財産法ハ十九年ニ設定サレマシタモデアリマシテ、其當時五爵ノ制ハ布カレマシテ、而シテ帝國ノ名家ノ此財産ヲ保護スルノ必要ヲ認メテ、此法律ガ制定サレタコトデアリマス、然ルニ既ニ三十年ヲ經過イタシテ、此法律ガ段々時勢ノ變ニ從ッテ、少シク嚴格ニ失シ或ハ時勢ニ適セナイト云フコトガ起リマシテ、既二十年來此改正ノ必要ヲ宮中ニ於テモ認メラレテ、既ニ皇室制度取調局ニ、伊藤公ノ總裁ノ時代カラ度々此改正法ガ起草サレテ、遂ニ今日ニ至ッテ居リマシタガ、愈、改正ノ必要ガ貴族ノ仲間ニ於テモ、或ハ宮内省ニ於テモ必要ナリトセラレ、根本ノ主義ハ同一デアリマスルガ、多少時勢ニ適シテ之ヲ緩和シタモノニ過ギヌノデアリマス、其最モ必要ナルモノハ、世襲財産ノ本ガ二ツニ分レテ、一ハ不動産、一ハ公債及有價證券、有價證券ヲ不動産ニナスコトハ許サレテ居マスガ、不動産ヲ有價證券ニナスコトハ出來ナイト云フコトニナッテ居マシタノデアリマス、其他種々ノ規定ガ現在ノ時勢ニ應ゼヌ、或ハ華族ノ生計其他ノコトニ適應シナイモノアル爲ニ、多少之ヲ緩和シテ、或ハ公債有價證券モ亦不動産ニ轉ズルコトガ出來ル、其他多少ノ時勢ニ適應スル改正ガ必要ト認メテ、此改正法案ガ提出イタサレタノデアリマス、宜シク御審議ヲ願ヒタウゴザイ

マス

○男爵尾崎三良君 チョット今總理大臣カラ此改正ノ御趣意ヲ述ベラレマシタガ、尙ホ此議案ニ付テ大臣若クハ政府委員カラデモ宣シウゴザイヌガ、モウ少シ御説明ヲ煩ハシタイト存ズルノデアリマス、其譯ハ一體此世襲財產ト云フモノハ歐羅巴デモ有ルモノデアリマスガ、今日ノ社會ニ於テハ、追々是ハ宜シクナイモノト云フコトニナツテ、英國ナドデハ段々減ジテ、遂ニ無クスル位ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、一體是ハ社會問題デアツテ、或一部ノ人間ヲ保護スル爲ニ、多數ノ人間ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ結果ガアルノデアリマス、依ツテ社會ガモウ少シ進歩シタラバ全然廢止スベキモノデアラウト私ハ考ヘテ居ル、去リナガラ今日ノ場合、未ダ之ヲ全廢スルト云フ場合ニハ至ラヌカモ知レマセヌガ、暫ク必要ト見テ存シテ置クコトモ、現時ノ場合已ムヲ得マセヌカモ知レマセヌガ、去リナガラ是マデノ世襲財產法ト云フノハ甚ダ粗笨ナモノデ、窮屈ナモノデ、保護セムトスル……セラレムトスル華族其者モ自ラ束縛セララルコトガアル、社會ハ又之ガ爲ニ非常ニ迷惑ヲ蒙ツテ居ルコトモアル、依ツテ此際改正案ヲ出サレルノハ誠ニ時機ヲ得タモノト信ジテ居リマスガ、去リナガラ此改正案ハ唯今見マシタ所デ、ドウモ私共ノ考ヘル程ノ改正ニハナツテ居ラヌヤウニ思ヒマス、ソレデ私共ハ元々此法案ハ已ムヲ得ヌ一時ノ法デアツテ、到底ハ是ハ廢スベキモノト思ヒマス、ガ今日之ヲ存スル必要ガアル以上、何トカ是ニ制限ヲ加ヘテ置キタイト思フノデアリマス、今日此世襲財產ノ法ガアル爲ニ、或華族ニ於テハ數百萬圓ノ財產ヲ世襲財產トシテ置イテ、其利息デ贅澤ナ暮シヲ居ル、而シテ當然賠償ヲ得ベキ債權者ハ、左程有福ナ人間デナイ、僅カナ金ニ困ルト云フ者ガアツテモ、ソレハ少シモ償ハヌデモ宜イト云フ斯ウ云フヤウナ状態ハ、今日例ガアルノデアリマス、デ其世襲財產ト云フモノハ華族ヲ保護スル、即チ古來ノ名門トカ、有功ノ家トカ云フモノガ、零落シテ潰レテハ誠ニ惘然ノ話デアルカラ、之ヲ保護スル爲ノ法ト思ヒマスガ、去リナガラ其華族ノ面目ヲ保ツテ行ク所ノモノガアツタラ宜カラウト思ヒマス、然ルニ此法律ヲ以テ數百萬ノ財產ヲ世襲財產トシテ置イテ、債權者ハ左ノミ裕福ニ非ズ、中ニハ難儀シテ居ル者モアルケレドモ、ソレニハ拂ハナイ、斯ウ云フコトガアルガ、是ハ詰リハ華族ト云フモノガ社會ノ害物ダト云フ觀念ヲ人民ニ起サセルコトダラウト思ヒマス、是ハ歐羅巴ニモ隨分例ノアルコトデ、其裏ニハ華族全廢ト云フヤウナ激烈ナ反動ガアリ

マシタ、是ハ宜シク今日ニ於テ考ヘテ置クベキコトト思ヒマス、デ私共ノ考ハ今度改正案ガ出レバ大抵ノ所ニ制限ヲ付ケテ、ソレ以上ノ必要ハナイト云フコトニシタイト思フノデスガ、此改正案ヲ見マサルト一向其制限ガナイ、矢張り是迄通り數百萬圓ノ財產ヲ世襲財產ニシテ置ケバ、隱居シタトカ死シタトカ云フ場合ニ家督相續人ニナツテモ、矢張り限定相續人トカ云ウテ、其債權者タル者ニハ、當然ナル權利ヲ有ツテ居ル者ニハ仕拂ハズシテ、數百萬圓ノ財產ヲ相續シテ安然トシテ居ル、人民ノ上ニ立ツテ皇室ノ藩屏トカ云ウテ居テモ、果シテ是ガ人民ノ怨ヲ來タサヌモノデアリマセウカ、是ハ社會問題デアツテ、甚シク人民ノ反感ヲ來タサヌ中ニ、早ク是ハ相當ナ所ニ改良シタラ宜カラウト拙者ハ思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ、此案ニハ其制限ノ簡條モ見エマセヌガ、其邊ハ如何ナ御見込デアリマセウカ、矢張り現時ノ通り數百萬圓ノ財產ヲ有ツテ居テ、華族以外ノ人民ニ對シテ損害ヲ掛ケテモ構ハヌト云フ精神デアリマセウカ、其邊ノ御見込ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣伯爵大隈重信君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 唯今ノ御質問ハ能ク理解イタシマセヌガ、チヨット御尋ネ致スガ、制限ヲ置イタラ宜カラウト云フ如キ修正ノ御意見デアルカ、或ハ數百萬圓ノ財產ヲ有ツテ居ル所ノ貴族ガ債權者ニ世襲財產法ニ依ツテ迷惑ヲ掛ケル、斯ノ如キモノハ社會問題ニナルト云フ根本ノ御議論デアルカ、若シ根本ノ御議論ナラバ是ガ即チ法律案、此法律ガ一般ニ行ハレタ以上、初メテ貸借ノ關係ガ起レバ、世襲財產法ニ於テ如何ナル大財產モ世襲財產ニハ手ヲ付ケルコトハ出來ナイト云フコトヲ理解シテ貸借ノ成立ツタモノデ、是ハ往々華族ノ從來ノ習慣デハ、如何ナル名家ノ人モ餘ホド勝レタ高尙ナル考ヲ有ツテ居ツテモ、一家ノ財ヲ營ムコトハ甚ダ粗デアルト云フ如キモノニ乘ジテ、世間デ稱ヘル狡猾ナル高利貸ナドガ金ヲ貸シタト云フコトハ是迄澤山承ル、今日モアルノデアアル、是等ハ初カラ分リ切ツタ話デ、法律其モノハ世襲財產ニハ手ヲ觸レルコトハ出來ナイト云フ、抵當ニナラヌ、ソコデ是ハ私ハ社會問題ニハ決シテナラヌト思フ、社會ハ何等其爲ニ不滿ハナイノデアアル、一種ノ貴族ノ弱者ニ乘ジテ金ヲ貸スト云フ如キ危險ヲ冒シテ爲スモノハ不平ヲ言フカモ知ラヌガ、是ハ法律ニ依リ斯ノ如キモノヲ豫メ制シテ置クノデアリマス、併ナガラ是ハ範圍ガ云々ト云フコトハ、他日多少或ハ修正ト云フ御意見ガアルナラバ、ソレハ委員會デ御意見ヲ承リタイト存ズルノデアリ

マス、併ナガラ精神其モノハ今日ノ時勢ニ適シタリト認ムルノデアリマス、前ヨリハ多少緩和サレタモノデアアル、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵尾崎三良君 唯今本員ノ質問ニ對シテ總理大臣ヨリ御答辯ガアリマシタガ、其御答辯ニ依ルト、尾崎ノ質問ハ二ツアルヤウニ見エル、一體社會問題トシテ此世襲財産ト云フモノハ良クナイモノデアアルト云フ説ト、或ハ制限ヲ立テルト云フ、此二ツアルヤウニ見エルガ、斯ク云フ御説明ガアリマシタガ、成程二ツノヤウニ聞エマセウガ、併シ其本ハ一ツデアリマス、ト申スモノハ一體私ノ論ハ斯様ナモノハ到底永遠ニ存ズベキモノデナイ、當然廢スベキモノデアアルト云フコトガ土臺ニナツテ居ル、去リナガラ今日ノ時勢ニシテ未ダ之ヲ全廢スルノ時機ニ至ラヌカラ、暫ク存シテ置クト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアラウ、去リナガラ元々是ハ社會ニ存スベキモノデナイ、暫ク時勢上已ムヲ得ヌカラト云フコトデアアルナラバ、相當ニ制限ヲ立テル必要ガアル、其制限ト云フモノハ詰リ名門ノ華族ヤ何かガ零落シテ、今日食フコトモ出來ナイヤウニナツテハ、甚ダ日本ノ今日ノ社會ノ組織上面白クナイカラ、之ヲ維持スルダケノモノニ止メテ置キタイ、何モ數百萬圓ノモノガナクテハ華族ノ體面ヲ保ツコトガ出來ヌト云フコトハナイ、ソレモ色々程度ガアリマスケレドモ、大抵ソコノ暮ラシガ付ケバソレデ宜イト思ヒマス、ドウシテモ是ハ大隈伯、今ノ總理大臣ノ豫テ御説ニシテモ、之ヲ永遠ニ存シテ置カヌナラヌト云フノハ、豫テノ御議論ト少シ齟齬スルヤウニ思ヒマスルガ、去リナガラ私モ今日之ヲ全ク廢スルト云フ考デハアリマセヌ、唯時勢上已ムヲ得ヌ……

○議長(公爵徳川家達君) 尾崎男爵ニ御注意ヲ致シマスガ、何卒御意見ニ相成ラヌヤウニ希望イタシマス

○男爵尾崎三良君 宜シウゴザイマス、ソレデ唯今ハ制限ノ論デアリマシタガ、今總理大臣ヨリノ御説明ニ制限ヲ加ヘル必要ガアルナラバ、ソレハ又如何様トモシテ宜カラウト云フ御説デアリマシタ、シテ見レバ之ニ制限ヲ加ヘルト云フコトハ餘リ御異存モナイヤウニ思ハレル、其上ハ議論ニナリマヌルカラ止シマシテ、是ハ社會問題ト相俟ッテ必要ナ重大ナ事件ト考ヘマヌルカラ、是ハ一ツ特別委員ハ十八人ニ御決メニナツテ、其委員ノ指名ハ議長デナサルコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君 此特別委員ノ數ニ付テ唯今尾崎男爵カラ御發議ガゴザイ

マシタガ、私ハ此際僅カナ差デハアリマスルガ、十五名ト致シタイノデアリマス、是ハ民法トノ關係ヲ有チマスル可ナリ重要案デアリマスカラ、十五名ノ委員ヲ議長ニ於テ指名セラルルコトニ致シタイト思ヒマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○江木千之君 賛成
○男爵眞田幸世君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今尾崎男爵ノ特別委員ヲ十八名ト云フ動議ハ賛成者ガアリマセヌカラ、成立イタサヌモノト認メマス、田男爵ノ特別委員ノ數ヲ十五名トスル説ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシト」呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

華族世襲財産法改正法律案特別委員

- 侯爵細川 護立君 伯爵柳澤 保惠君 子爵平田 東助君
- 子爵岡部 長職君 子爵三島 彌太郎君 子爵酒井 忠亮君
- 子爵水野 直君 男爵小澤 武雄君 男爵有地 品之允君
- 男爵田 健治郎君 富井 政章君 岡野 敬次郎君
- 男爵田 義人君 男爵中川 興長君 桑田 熊藏君

○議長(公爵徳川家達君) 此際議長ハ此席ヲ副議長ニ譲リマス
〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第三、法人ノ役員處罰ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

法人ノ役員處罰ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正四年五月三十一日

- 内閣總理大臣 伯爵大隈 重信
- 司法大臣 尾崎 行雄

法人ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事、監査役又ハ監事ニシテ刑事訴追又ハ刑ノ執行ヲ免レシムル爲合併其ノ他ノ方法ニ依リ法人ヲ消滅セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

附則

本法ハ大正四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 此案ハ從來法人ニ對シテ刑ヲ課シ、若クハ課シタ場合ニ之ヲ解散若クハ其他ノ手續ニ依ッテ刑罰ヲ免レムト企テル者ガ時、アリマス、ソレヲ防禦スルガ爲ニ提出シタルモノデアリマシテ、若シ役員ガサウ云ウヤウナ經畫ヲ致シマシタ場合ニ於テハ、之ヲ五年以下ノ懲役ニ處スルト云フ趣意デアリマシテ、極メテ簡單ナル意味デアリマスルカラ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○石渡敏一君 唯今司法大臣カラ此案ニ對スル御説明ガアリマシタガ、議案ヲ見タ所ト同ジコトデアリマスルカラ、今少シ事實ニ付テ斯ウ云フ例ガアツテ、斯ウ云フ譯デ以テ本案ハ改正スルコトニナツタト云フ點ヲ、事實ノ上デ御説明アラムコトヲ請ヒマス

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 細カナ點ハ何レ委員會ニ於テ説明ヲ致ス積リデアリマスガ、其一例ヲ申シマスレバ、例ヘバ或會社ガ稅ヲ納メナイト云フガ如キ場合ニ於テ、之ヲ是非納メサセヤウトスル時ニ、突然合併……他ノ會社ト合併シ、若クハ解散ヲスルト云フガ如キ手續ヲ以テ脱稅ヲ圖ルコトモアル、其他違法ノ處分ヲ以テ財産刑ニ處セラルル時ニ、或ハ處セラレテ執行前ニ突然合併、若クハ解散ヲシタト云フガ如キコトデ、裁判ヲ進行シテモ其目的ヲ達シ得ナイ場合ガ時、アリマスサウデアリマス、其ヤウナ場合ニ於テハ之ヲ企テタル役員ヲ處罰シテ、左様ナコトノ將來ニナイヤウニ豫防ヲ施サウト云フ趣意ニ外ナリマセヌ、如何ナル會社、法人ガ如何ナルコトヲシタト云フ詳細ナ點ハ、御入用トアレバ何レ委員會ニ於テ説明ヲ致スコトニ致シマス

○石渡敏一君 私ハ此事實ヲバ司法大臣ト云フ譯デハゴザイマセヌ、他ノ政府委員ノ方カラ承ッテモ宜シウゴザイマセヌガ、今少シ事實トシテ斯ウ云フ事實ガアツタト云フコトノ御話ガ出來ルナラバ此所デ御願スルト云フ希望ヲ持ッテ居リマス

〔政府委員鈴木喜三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(鈴木喜三郎君) 石渡サンノ御質問ノ點ニ付キマシテ、茲ニ悉ク申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、唯今調査イタシマシタ一二ノ事實ヲ申シマスレバ、昨年九州ニ於キマシテ「トロール」會社ガ漁業法違反ヲ致シマシテ、裁判所ニ於テ事件ヲ繼續イタシマス半ニ於テ、合併ヲ致シマシテ、遂ニ處罰スルコトガ出來ナイヤウナ事實ガアツタノデアリマス、其他尙ホ一二アルノデゴザイマシテ、今現ハレマシタ事實ノ調査ヲシツツアルコトデゴザイマスカラ、追ッテ委員會デ詳シク申上ゲル考デゴザイマス

○阪本鈺之助君 本案ト直接ノ關係ハゴザイマセヌガ、政府ガ斯ノ如キ取締ヲ行ハルト云フコトハ頗ル結構ナコトデアリマス、今日世間ニ或ハ銀行ノ名ヲ用ヒ、若クハ會社ノ名ヲ用ヒマシテ、民間ノ零碎ナ貯金ヲ集メマシテ、遂ニ其結果ハ細民ヲ苦メルト云フコトガ澤山事實ガアルノデアリマス、政府ニ於テモ相當ノ取締ハサレテアルヤウデアリマスルガ、斯ノ如キコトニ御氣附ニナツテ法律ガ出來マスル位ナラバ、是等ノ御取締ニ付テモ何等カモソツト嚴重ナ取締ガアリサウナモノト存ジマスル、地方ニ居ッテ實際見マスルト、東京ノ本店ナルモノハ如何ナルモノデゴザイマスカラ、サッパリ分ラヌ位ナモノデアツテ、而シテ地方ニ麗々シク支店ナドヲ設ケマシテ、勸誘員ナドヲ置キマシテ、事理ヲ辨ゼザル細民ニ向ッテ巧イコトヲ言ッテ、粒々辛苦シテ貯ヘタ零碎ナ資金ヲ集メマシテ、何時ノ間ニヤラ閉店ヲシタリ、夜逃ゲ同様ノコトヲシタリスルノデアリマス、是等ハ餘程嚴重ナ取締ヲ必要ト思ヒマスガ、斯ノ如キ法律ヲ御設ケニナル場合ニ於テハ是等ノ點ニ付テモ……是ハ司法省ノ御所管デハナイカト存ジマスガ、政府トシテ何等カ御考ヘガアルノデアリマスカ、幸ヒ此機會ニ御意見ヲ承リタウ存ジマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今御尋ネニナリマシタヤウナ弊害ノアルコトハ政府モ之ヲ認メテ居リマスノデ、此度貯蓄銀行法ノ改正竝ニ無盡業法ト云フモノヲ新タニ制定シヤウト思ヒマシテ、唯今衆議院ニ提出ニ相成ッテ居ルノデアリマスカラ、何レ衆議院ノ可決ヲ見マシタナラバ、當院ノ御評議ヲ仰グヤウニナルデアラウト存ジマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕
法人ノ役員處罰ニ關スル法律案特別委員

伯爵松平 賴壽君 子爵本多 實方君 子爵勘解由小路資承君
男爵伊丹 春雄君 男爵黑田 長和君 男爵二條 正麿君
加太 邦憲君 倉知 鐵吉君 森田 庄兵衛君

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第四、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第七條第一項第六號中「中新潟縣下新發田ヨリ村上ニ至ル鐵道」ヲ削ル
同項第二十二號中「香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下川之江ニ至ル鐵道」ヲ「香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下西條ニ至ル鐵道」ニ改ム

〔政府委員仙石貢君演壇ニ登ル〕

○政府委員(仙石貢君) 目下工事著手中ノ線路ニシテ近ク竣工シ又ハ竣工セムトシツアルモノガ澤山アルノデアリマシテ、本案ノ線路ハ本年ニ於テ之ヲ追加セムトスルノ案デアリマス、又本中新發田村上線ヲ削ルノハ、是ハ工事が竣工イタシマシタカラ削ル次第デアリマス、御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案特別委員

公爵二條 基弘君 伯爵清閑寺 經房君 子爵松平 直平君
子爵京極 高備君 子爵豊岡 圭資君 古市 公威君
男爵福原 俊丸君 海江田準一郎君 廣瀨 滿正君

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第五、治水費資金特別會計法廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

治水費資金特別會計法廢止法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

治水費資金特別會計法ハ大正四年度限り之ヲ廢止ス

治水費資金特別會計ニ屬スル資金及債務ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 御承知ノ通り唯今問題ニナツテ居リマス治水費資金特別會計法ナルモノハ、明治四十三年大洪水ノ後ニ政府ガ新ニ治水ノ經畫ヲ定メマシテ、十八年間ニ全國ノ最モ重要ナル河川ノ改修ヲシ、然ル後更ニ其次ニ及バウト云フノデ、經畫ヲ立テマシタ際ニ、其資金ノ關係ヲ特別會計ニ定メテ置イテ、其特別會計ノ金ヲ一般會計ニ入レテ、治水ノ經畫ヲ實行スルコトニイタシタノデアリマス、元來河川ノ改修ノ費用ハ此改修ヲイタシマシタカラト云ウテ、一般ノ公益ノ上ニハ餘程大切ナコトデアリマスケレドモ、ソレガ爲ニ直チニ收益ヲ生ズルト云フ次第ノモノデアリマセヌカラ、斯様ナ費用ハ借入金ニ依ツテ實行スルト云フコトハ、出來ルナラバ之ヲ避ケタ方ガ宜シイノデアリマス、即チ一般ノ歳入ヲ以テ支辨スルノガ當然ノ事柄デアアルノデアリマスガ、當然借入金ニ財源ヲ求メタ所以ノモノハ、一方ニ於テ財政上ニ於テ新ニ立テマシタ治水經畫ヲ實行スル時ニ、十分ナル財源ノ餘裕ガナイト云フコトガアリマシタシ、他ノ一方ニ於テハ、年々日本ニ起リマスル所ノ水害ニ對シテ成ルベク早ク之ヲ防止スル經畫ヲ立テテ、民生ノ損害、財産ノ損失等ヲ免レシメナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ツタモノデアリマスカラ、已ムヲ得ズ財源ノ一部ヲ借入金ニ求メルコトニ致シテ、借入金ニ求メルニ付テハ特別會計ヲ設ケテ一般ノ歳入ト地方ノ分擔金ト、竝ニ借入金トシテ併セテ治水費特別會計ノ財源ニシテ、此財源ヲ一般會計ニ繰入レテ、治水ノ經畫ヲ實行スルコトニ致シタイノデアリマス、併ナガラ前申シマス通り元來河川ノ改修ノ如キハ、之ヲ借入金ヲ財源ニシテ置ク時ハ收益ヲ生ジナイ事業ニ借入金ヲ用フルコトニナリマスカラ、出來ルナラバ避ケタ方ガ宜カッ

タノデアリマス、當時已ムヲ得ズ此經畫ヲ立ッテ次第デアリマスガ、然ルニ借入金ヲ財源ニシテ居リマス、此經畫ハ主ニ預金部カラ借入金ヲ致ス經畫ニナッテ居リマスガ、預金部カラ借入金ヲ致スト云フコトニシマス、預金部ノ資金ガ十分餘裕ノアル場合ニ於テハ至極結構デアリマスガ、預金部ノ資金ノ増加ガ近年見マス如ク、餘リ大ナル増加ヲ呈セズト云フヤウナコトニナリマシテ、而シテ又此預金部ノ資金ナルモノハ、總テ皆政府ノ財政ノ財源ノ方ニ之ヲ使フト云フヤウナコトニ致シマス、全國各地方カラ零細ナル資金ノ集ッテ來テ居ルモノガ、一地方ニ偏シタ放資ノ方法ニナリマス、資金ノ融通ノ上ニ於テモ亦其宜シキヲ得ナイト云フコトニ相成リマス、又一方ニハ其増加ガ思フ通りニ參リマセスト、預金部カラ貸スコトガ出來惡イガ爲ニ、勢ヒ治水經畫ノ繰延ヲシナケレバナラヌト云フコトガ起ル恐レガアルノデアリマス、此點カラ申シマス、今日ノ通りナ經畫ヲ進ミマス、或場合ニハ資金ノ放資ノ關係ニ於テ……預金部ノ資金ノ放資ノ關係ニ於テ宜シキヲ得ナイト云フヤウナコトモ生ジ、又或場合ニハ治水經畫ヲ實行スル上ニ於テハ資金ノ缺乏カラ、時ニ依レバ是ガ繰延ヲ要スルト云フコトガ起ラヌトモ限ラスノデアリマス、然ルニ今回ハ政府ハ財政ノ經畫ヲ色々變ヘマス際ニ、治水費ニ付テハ借入金ヲ財源トスルコトハ止メテ、一般歳入カラ總テ之ヲ支辨スルト云フコトニ變ヘルコトニ致シタノデアリマス、斯様イタシマスレバ、唯今申上ゲマシタ通り收益ノナイ事業ニ對シテ借入金ヲ使フコトヲ止メマス、又預金部ノ資金ヲ一局部ニ偏セシメテ放資スルコトモナクナリ、同時ニ又治水費ノ財源ガ非常ニ不如意ナ爲ニ、治水事業ヲ遂行スルコトヲ繰延ヘナケレバナラヌト云フコトヲ致サヌデモ濟ムヤウニナルノデアリマス、斯様ナ財政經畫ニ此度變更イタシタノデアリマス、既ニ借入金ヲ財源ニシナイト云フコトニナリマスレバ、一般歳入ト地方ノ負擔金ヲ以テ治水經畫ヲ實行スルノデアリマス、最早特別會計ヲ存シテ置ク必要ハナイノデアリマス、特別會計ヲ存シテ置キマス、唯會計ヲ重複混雜セシムルノミデアッテ、何等實益ガナイコトニナリマス、此度改正シマシタ財政經畫ニ於テハ最早特別會計ヲ存置スル必要ガナイノデアリマシテ、茲ニ法律ノ改正案ヲ提出シタ次第デアリマス、御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切ニ希望イタシマス

○水野鍊太郎君 本案ニ付キマシテハ唯今ノ御説明デ極メテ明瞭ニ了解イタ

シタノデアリマスガ、此際念ノ爲ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、治水費特別會計ハ唯今大藏大臣ノ御話ニナリマシタ如キ事情デ出來タノデアリマスガ、此度ハ借入金ヲ止メルト云フ政府ノ御方針デアッテ、一般會計デ之ヲ支辨スルト云フコトニ財政經畫ヲ御改メニナッテサウデアリマスガ、是ハ大體ノ財政經畫ヲ承ラナケレバ分ラヌノデアリマスガ、私ハ今ソレヲ承ルト云フノデアリマセヌケレドモ、元ト四、十三年ノ大水害ノ際ニ鑑ミマシテ此治水經畫ヲ立テマシタノハ、當時ノ財政ノ事情ニ依リマス、一般會計ノ費用ヲ以テ之ヲ支辨シテ居リマシタ際ニハ、時ニ依リマシテ始終其費用ノ消長ガアッタノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、寧ロ之ヲ特別會計トシテ借入金ヲ爲ス制度ニ改メタナラバ、時ニ依ッテ一般會計ノ事情ニ依リマシテ、借入金ヲ以テ之ヲ補足スルコトガ出來ルト云フヤウナ事情デ出來タモノト考ヘテ居リマス、唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、却ッテ其方ガ治水經畫上ニ將來支障ヲ來タス虞レガアル故ニ、此度借入金ノ制度ヲ止メ、特別會計モ止メルト云フコトデアリマスガ、此經畫ヲ御改メニナリマシタ後ニ於キマシテ、其當時經畫サレマシタ所ノ謂ハユル十八年ニシテ二十河川デアリマシタカ、此河川ヲ總テ改修スルト云フ經畫ノ上ニ於テ此度ノ此財政經畫ノ變更ハ何等支障ヲ來タサヌノデアリマセウカ、或ハ此數年間ハ是デ以テ足レリトスルノデアリマセウカ、將來モ此經畫ニハ少シモ變更ヲ來タサズシテ行ケルト云フ御見込デアアルノデアリマス、此點ニ付テ念ノタメ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 治水經畫ノ上ニハ何等變更ハ加ヘマセヌノデアリマス、即チ治水ノ經畫其モノハ明治四十三年ニ立テマシタ經畫ニシテ、其後財政行政ノ整理ノ場合ニ少シバカリ金額ニ異動ヲ生ゼシメテアリマスケレドモ、併ナガラ總體ニ於テハ矢張り十八年間ニ於テ完成スルト云フ經畫ニナッテ居リマスガ、其經畫ハ今回ハ全ク之ヲ少シモ變更シナイノデアリマス、即チ治水ノ經畫其モノハ明治四十三年ニ立テラレマシタ其精神ヲ何所マデモ實行シテ行クト云フコトデアリマシテ、今回ハ唯其經畫ニ對シテ入用ナル資金ヲドウスルカト云フ問題ダケデアアルノデアリマス、當時ノ事情ハ水野君モ能ク御承知ノ通り九月以後ニ洪水ガ起ッタノデアリマス、九月頃ニナリマス、政府ノ財政ト云フモノハ略、見當ガ付イテ來ルノデアリマス、ソレデ翌年ノ治水費ノ經畫モ略、付イテ居ル所ヘ大水ガ起ッタ、斯様ニ屢、大水ガ起ルヤウ

ナコトニ付テ從來ノ經畫通りデハイケナイカラ、茲ニ根本カラ經畫ヲ一ツ立テテ行カウト云フノデ治水費調査委員會ナドモ出來マシテ、水野君ノ仰セラレマシヤウナ十八年經畫ガ出來タノデアリマス、然ルニ其時ハ既ニ財政經畫ガ付イテソレノ財源ノ分配ガ出來タ後デ、既ニ經畫ヲ立ッタ其經畫ヨリ以上ノ治水費ヲ使ハナケレバナラヌヤウナコトニナッタモノデアリマスルカラ、已ムヲ得ズ借入金ヲシテ補フヤウナ經畫ニシテ案ガ立ッテ居ッタノデアリマス、ソレヲ今回行政整理等ニ依ッテ出マシタ財源ノ按排ニ依ッテ、借入金ヲシナイデモ一般ノ歳入デ既ニ立ッテ居ル經畫ガ出來ルヤウナ見込ガ付キマシタガ故ニ、最早借入金ヲ待タヌデモ既定ノ遂行ガ出來ルト云フ意味ヲ以テ、此廢止案ヲ提出シタ次第デアリマス

○男爵田健治郎君 此特別會計廢止案特別委員ハ十五名ニシテ議長ガ選定セラレルヤウニ致シタイ、其理由ハ此案モ可ナリ重要ナ案デゴザイマスガ、又續イテ第六、第七、第八ト云フモノモ矢張り財政經畫ニ關聯シタモノデ、同一委員ニ付託セラレルコトデアリマセウト思ヒマスカラ、其意思ヲ以テ茲ニ於テ、第五ノ案ニ於テ十五名ノ委員ヲ御選定ニナルヤウニ致シタイノデアリマス

○江木千之君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今田男爵ノ委員ヲ十五名ニスルト云フコトニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第六、大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面二千四百萬圓ヲ限リ五分利付公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 大正三年臨時事件ニ關シマシテ、功勞ノアリマシタ陸海軍人並ニ其他ノ人ニ對シテ行賞ヲセラレマス爲ニ與ヘラレマス公債ハ、前例ニ依リマシテ五分利ノ公債ヲ以テシタ方ガ至當デアルト存ジマシテ、而シテ其金額ハ額面二千四百萬圓限リ發行スルト云フコトニ致シタナラバ、行賞ノ爲ニ與ヘラレベキ者ニ大體ハ不足ナイト存ジマスカラ茲ニ此法律案ヲ提出シマシテ御審議ヲ願フ次第デアリマス、ドウゾ御協賛ニナラムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ特別委員ハ第五ノ議案ノ特別委員ト同一委員デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第七、帝國鐵道會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第八、國債整理基金特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、此兩案ハ牽聯シテ居リマスカラ、併セテ議題ニ供シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ナイト認メマス

帝國鐵道會計法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

帝國鐵道會計法中左ノ通改正ス

第二條中「又ハ」ノ下ニ「一般會計」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國債整理基金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債整理基金特別會計法中左ノ通改正ス

第二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項繰入額ノ中國債ノ元金償還ニ充ツヘキ金額ハ他ノ特別會計ヨリ繰入ルルモノヲ併セテ前年度首ニ於ケル國債總額ノ萬分ノ百十六以上トシ三千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ大藏省證券及借入金ハ之ヲ國債ト看做サス

附則

本法ハ大正四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 鐵道特別會計法中ノ改正案ハ一般會計カラ鐵道會計ニ借入金ヲナスコトノ出來ルヤウニシヤウト云フ趣意ノ改正案デアリマス、唯今鐵道特別會計ニ對シテハ外ノ特別會計カラ借入ヲナスコトハ出來マスケレドモ、一般會計カラ借入ヲナスコトノ規定ガナイデアリマスカラ、此度一般會計カラモ借リルコトノ出來ルヤウニ改正スルノガ鐵道特別會計法中ノ改正ノ趣意デアリマス、又國債整理基金法中ノ改正案ハ現行ノ國債整理基金法ニ依リマスト云フト、日露事件ノ爲ニ發行イタシマシタ公債ノ元利償却ノ爲ニ、毎年少クトモ一億千萬圓ノ繰入金ヲサナケレバナラヌト云フ規定ニナツテ居リマス、此規定ヲ改正イタシマシテ、今回ハ一般會計ノ側カラ國債整理基金ニ繰入レマス金額ノ元金ノ償還額ニ充ツベキモノガ、國債總額ノ萬分ノ百十六以上ニナルダケノ金額ハ必ず入レナケレバナラヌ、而カモ其萬分ノ百十六ト云フモノガ若シ三千万圓以下ニ下ルヤウナ計算ニナル場合ニ於テハ、必ず三千万圓ニシナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フコトニ改正スルノ

ガ國債整理基金法改正ノ重モナル所デアリマス、重モナル所ト言ヒマスガ殆ドソレノ必要ガアツテ改正案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何故ニ斯ノ如キ改正ヲ致スカト云フコトヲ一通リ申上ゲタイト思ヒマス、國債整理基金法ヲ改正シマスノハ二ツノ點カラ改正ノ必要ヲ感ジテ參ッタデアリマス、一ツハ先程申上ゲマシタヤウニ、日露事件公債ノ爲ニ年々一億千萬圓以上ノ金ヲ繰入レナケレバナラヌト云フ規定ニ依リマスト云フト、其規定ノ通りニ實行イタシマスト云フト、大正四年度ノ國債償還額ハ五千百萬圓以上ニナルノデアリマス、大正五年度ニナレバ、ソレガ五千二百何十萬圓、ソレカラ段々追ウテ行ッテ、四五年後ニナレバ六千萬圓以上ノ元金償還額ニ上ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、唯一億千萬圓ヲ繼續シテ入レテ參リマスト、ソレデ日露事件ノ公債ガ多額ニアリマス場合ニ於テハ、利息ノ高ガ澤山ニナツテ居リマスカラ、之ヲ利子ニ仕拂ヒマスト元金ノ償還ニ當ルモノガ左ホド多額ニハ上ラナカッタデアリマスケレドモ、今日ハ日露事件ノ公債ナルモノガ段々減ジマシタ結果トシテ、利子ニ充當セラレル部分ガ漸次減少シ參ルノデアリマス、其反比例ニ於テ元金償還ニ當テラルベキ金額ハ段々増加シテ參リマスコトハ、前ニ申上ゲマシタ通り、五千萬餘リノモノガ數年ナラズ六千萬圓以上ニ上ルト云フコトニ相成ッタデアリマス、公債ノ償還額ノ多額ニ上ルコトハ一應ハ至極結構ナヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ一般ノ政費ノ分配ノ上カラ考ヘマスト云フト、凡ソ政費ノ分配ノ上ニ於テハ大抵好イ加減ノ程合ノ程度ガアラウト思ヒマスノデ、行政費ニドレダケ、軍事費ニドレダケ、國債費ニドレダケト云フ割合カラ言ヒマスト、此元金ノ償還額ダケヲ餘リニ餘計増加スルト云フコトハ割合ノ上カラ言ウテ宜シクナイデアラウト思ヒマス、ノミナラズ茲デ五千萬圓或ハ六千萬圓ト云フヤウナ償還ヲ致シマスト云フト、四五年ノ後ニ至リマスト云フト、内國ニ存シテ居リマス日露事件公債ト云フモノハ殆ド償還シ了ルノデアリマス、之ヲ既ニ償還シ了リマスト云フト、後トニ殘ル所ノモノハ外國ニアル日露事件公債バカリデアリマスカラ、日露事件ノ公債ニ限ッテ必ず是ダケ償還シナケレバナラヌト云フ現行法ガ存シテ居リマスト、今後四五年ノ後ニ至リマスト、年々六千萬グラキノ元金ヲ外國ヘノミ支拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマス、左様イタシマスト年々内地ニハ、チットモ公債償還ガナクシテ六千萬圓以上ノ償還ハ殆ド外國ニ向ッテシナケレバナラヌ、利息ヲ外國ニ拂ヒマストモ今日デハ六千萬圓以上

アルノデアリマス、公債ダケ、國債ダケニ於テ、地方債社債ナドハ別ト致シマシテ、國債ダケニ致シテ外國ニ利息ヲ拂フモノガ六千萬圓以上アリマス、之ニ加ヘテ又元金マデモ六千萬圓位外國ニ拂フコトニナリマス、年々一億圓以上ノ正貨ヲ外國ニ出サナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、斯様ニ澤山ナ正貨ヲ年々外國ニ出スト云フコトニナリマシテハ、日本ノ貨幣制度、日本ノ金貨ヲ維持シテ行クト云フコトニ於テ甚ダ困難ヲ覺エテ來ル事情ガアルノデアリマス、ソレ故ニ其點カラシテ此規定ハ今後長ク此儘デハ到底實行ノ出來ヌコトニ相成ルノデアリマスカラ、早晚改正ヲ要スルノデアリマス、今頃カラシテ既ニ改正ヲシテ、公債ノ償還高ハ何レノ公債ヲ償還シテモ差支ナイヤウナ規定ニシテ置キマシテ、外債ヲ償却スル方ガ其當時ノ都合ガ好クナリ、又正貨ノ關係カラ差支ナケレバ外債ヲ償還シテ行クノガ宜イノデアアルガ、正貨ノ關係ヲ顧慮シ又内地ノ事情ニ鑑ミテ、内債ノ方ヲ餘計償還シテ、外債ノ方ノ償還ヲ少クスルノガ宜シケレバ其時ノ事情ニ應ジテ其通り實行ノ出來ルヤウニ、法律ハドチラデモ出來ルヤウニシテ置キマセヌト、唯今ノ現行法ノ如クシテ置クト、今後五六年ノ後ニ至リマスト實行ガ甚ダ難澁ニナルト云フ虞ガアリマスカラ、之ヲ改正シテ置ク必要ガアルノデアリマス、是ガ改正ヲ要シマスル一ツノ理由デアリマス、改正ヲ要シマスル他ノ一ツノ理由ハ今回ノ財政經畫ニ伴ッテ理由デアリマス、是迄ノ經畫ニ依リマスルト、鐵道資金ハ鐵道ノ益金デ辨ジ得ル外ハ公債募集又ハ借入金ヲナシテ其鐵道建設改良ノ費用ニ充テルコトニ相成ッテ居ル、デアリマス、此經畫ヲ施行シテ行カムトシマスレバ、年々多額ノ公債ヲ募集シナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ外國デ公債ヲ年々募集スルコトニシマス、公債募集ノ度毎ニ外國カラ正貨ガ急ニ内地ニ這入ッテ俄ニ通貨ノ状態ニ變動ヲ生ズルノデアリマスカラ、其激變ノ結果内地ノ經濟市場ヲ一時攪亂スル虞ガアリ、延イテ輸入ヲ促進シテ輸出ヲ妨ゲルト云フコトニナリマシテ、外國貿易ノ上ニ於テ良カラザル影響ヲ見ル事柄ハ最近數年ノ實例ニ依ッテ明カナルコトト思ヒマス、ソレ故ニ外債ヲ續ケテ募集スルコトハ今日ノ日本貿易ノ逆潮ヲ轉回シテ之ヲ改善スルト云フ上ニ於テ餘程妨ゲニナルコトデアラウト存ジマス、ソレナラバ内地デ公債ヲ募集シタラドウカト云ヒマス、内地デ公債ヲ募集シマスレバ、第一ニ事業資金ヲ政府ノ公債ニ依ッテ吸收シテ參ルノデアリマスカラ、自ラ事業資金ノ調達ニ壓迫ヲ加ヘルト云フ虞ガアルノデゴザイマス、ノミナラズ、市場困難

ナルニモ拘ラズ公債ノ募集ヲ續ケテ致シマス、發行條件ガ段々惡クナッテ參リマスカラ、左様イタスト、既ニ發行セラレタル所ノ巨額ノ公債價格ニ影響ヲ與ヘテ、公債ノ信用ヲ保ツ上ニ餘程惡ルイ影響ガアルト信ズルノデアリマス、故ニ政府ハ大體ニ於テ今日ノ日本ノ經濟狀況ニ於テハ内外市場ニ公債ヲ募集セヌ方ガ宜イト云フ考ヲ立テタノデゴザイマス、ソレナラバ公債ヲ募集セズシテ鐵道ノ建設改良事業ノ實行ガ出來ルカト申シマス、今日五千哩以上ノ鐵道ヲ國有トシテ政府ガ之ヲ經營シテ居ル、又大體ノ幹線ニ當ル部分ハ政府デ是ガ建設ヲナスコト云フコトニナッテ居リマシテ、其中ノ最モ急ナ所カラ著手シテ建設中デアアルノデゴザイマスガ、是等ノ事業ヲ適度ニ施行スル今日ノ場合デアアルカラ、進ンデ急ニヤル必要モナカラウト思ヒマスガ、適度ニ建設改良ヲ實行セムトスレバ相當資金ヲ要シテ、凡ソ二千萬前後ノ金ハドコカラ見付ケテ來マセヌト鐵道ノ益金ノミデハ鐵道ノ建設改良ノコトヲ略、適度ニ遂行スルコトガ出來ヌノデゴザイマス、ソコデ其二千萬ト云フ金ヲ公債ニ求メテ居リマシタガ、公債ヲ内外ノ市場ニ募集スルコトハ先キニ申述ベマシタヤウナ不良ナ影響ヲ與ヘテ、是ハ成ルベク避ケナケレバナラヌ事情ガアルノデアリマスカラ、之ヲ避ケルト云フ方針ヲ政府ハ立テタノデアリマス、然ル以上ハドコカラカ代リニ是ダケノ資金ヲ見付ケナケレバナラヌノデ、已ムヲ得ズ一般ノ歲入ノ中カラ貸付ケルト云フ方法ヲ取リタイ、然ルニ一般歲入ハ他ノ諸般ノ歲入、之ヲ節減シ得ザルモノガアリマスノデ、已ムヲ得ズ公債ノ償還金カラ減ジテ之ヲ鐵道資金ニ向ケルト云フコトニ致シタノデアリマス、鐵道ニ付テノ從前ノ經畫ハ公債デ其資金ヲ得タノデアアル、其公債募集ガ公債ノ信用ニ害アリト見タ以上ハ公債ヲ募集セズ、其代リニ公債償還ノ金ヲ以テ募集ニ代ヘルコトニ致シマスノガ一番適切ナル方法デアアル、斯様ニ考ヘマシタ故ニ、從前約五千萬圓償還シテ居リマシタモノヲ約三千万圓ニ減ジテ其金ヲ鐵道資金ニ向ケル、其金ノ借リラレルヤウニ鐵道會計法ニ一般會計カラ借入レル道ヲ開キマシタノデアリマス、又國債整理基金カラ鐵道資金ニ貸ス餘裕ヲ作ル爲ニ其法律ノ改正ヲ致シタノデゴザイマス、而カモ法律ノ改正ヲスルニハ唯二千万圓減ズルト云フコトニ致シマセヌデ、公債ノ現在總額ノ万分ノ百十六ノ償還ニ當レルト云フコトニ致シマスレバソレガ凡ソ二千万圓ニナリマシテ、唯今申シマシタ財政經畫ノ遂行上ニ於テ丁度出來ルコトニナルノデゴザイマス、ソコデ斯様ニ改正イタシマスレバ今後公債ノ募集ガ

出來ルヤウニナツテ公債ヲ募集シマスレバ、公債元金ガ殖ユル割合デ償還金ヲ増加シナケレバナラヌコトニナリマスカラ、自動的ニ公債償還ノコトガチャント經畫ガ立ツテ參ルコトニナルノデゴザイマスカラ、其意味ヲ兼ネテ此改正案ヲ提出シタ譯デゴザイマス、御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 毎々政府ニ質問ヲ致スヤウデアリマシテ、甚ダ御妨ゲ致シマシテ恐縮ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスガ、私ハ已ムヲ得ズ此際政府ニ御尋ヲシタイ、唯今御提案ニナリマシタ鐵道特別會計法ノ改正及國債整理基金特別會計法ノ改正、私ハ此兩案ニ對スル改正ノ趣意ヲ拜聽イタシマシテ、嘗テ政府ノ空前ノ出來事デアリマシタ日露大戰役ヲ經テ、之ニ伴ウタル國家ノ財政經畫ノ根本ノ破壞スルヤウナ端ヲ開カレテハ居ラナイカ、殊ニ明治四十二年桂内閣、桂内閣ノ中外ニ宣言セラレマシタ其根本ノ綱目ハ之ニ依ツテ破壞セラルル端ニナリハセヌカ、明治四十二年ノ桂内閣ニハ今日此議席ニ御出ニナリマス方ニモ澤山閣中ニ列シテ居ラレマス、殊ニ今日ノ大藏大臣若槻君ハ其當時ニ於ケル桂内閣ノ諸般ノ事柄ニ付テ最モ御盡力ニナツタ一人デゴザイマス、桂内閣ガ明治四十二年行政整理、財政整理ノ主ナル項目ハ何デアリマス、從來一般會計ニ對シテ少カラヌ係累ヲ及ボシテ居ツタ鐵道建設改良ニ關スル資金ヲ、之ヲ一般會計ヨリ分離シテ茲ニ鐵道ノ特別會計ヲ造ツテ、此間ニ斷然タル區劃ヲ造ツタト云フコトガ、是ガ一ノ大ナル項目デアッタノデアリマス、其次ニハ當時甚シク公債ノ不況デアッタ場合、加フルニ鐵道買収公債ノ約四億八千万圓ニ相當スベキモノガ不日發表セネバナラヌコトノ爲ニ、痛ク市場ニ壓迫ヲ加ヘテ居ツタ事情デアリマス、カルガ故ニ此二點ニ付キマシテ當時ノ桂内閣ハ少カラヌ注意ヲ拂ツテ、少カラヌ苦慮ノ中ニ茲ニ一大經畫ヲ立テラレタモノト私共ハ信ズルノデアリマス、明治三十九年、戦後ノ經營トシテ帝國鐵道ノ買収、鐵道國有ノ事柄ハ當時上下ニ於テ餘程ノ議論ヲ生ジタノデアリマス、去リナガラ戦後ノ經營トシテ軍事上ノ關係ヨリ、又殖産興業ノ上ヨリ、鐵道ノ國有ハ變ヘ難イ政策ノ一トシテ、種々ナ反對ガアリマシタニ拘リマセズ、國家將來ノ大計トシテ政府ハ之ヲ斷行シテシマッタノデ、當時種々ノ議論ガアリマシタニ拘リマセズ、貴衆兩院ノ協賛ヲ經テ、鐵道國有ノ根本ハ定マッタノデアリマス、鐵道ヲ國有ニ致シ、將來建設改良ノコトヲ政府ニ於テ負擔

スルト云フ以上ハ、其責任上建設改良ニ關シテ、數多ノ費用ヲ要スルコトハ當然デアリマス、容易ナラヌ費額ヲ要スルコトハ當然デアリマス、故ニ其結果トシテ當時鐵道ノ經營ニ關シテ責任ヲ有セラレテ居リマシタ山縣遞信大臣ハ、此鐵道國有ノ結果トシテ、政府ガ當然爲スベキ義務ニ屬スル建設改良ニ付テハ少カラヌ責任ヲ持ツテ居ラレタノデアリマス、故ニ此鐵道國有ノ趣意ヲ達シマスル爲ニハ、建設改良ニ對シテ要スル數多ノ經費ニ付テハ、責任上當時ノ遞信大臣ハ何トカシテ其職責ヲ全ウスル道ヲ執ラヌケレバナラナカッタノデアリマス、然ルニ財政ノ局ニ立ツテ居ラレマスル阪谷大藏大臣ハ、此經費ノ支出ニ付テハ餘程難ンゼラレタノデアリマス、何故斯様ナコトニナツテ參ツタカト申スニ、當時ハ一般會計ヨリ鐵道ノ建設改良ニ關スル資金ヲ支出スルコトニナツテ居ツタノデアリマス、其結果ガ勢ヒ大藏大臣ノ立場カラ見レバ、ドウシテモ費用多端ナル場合ニ於テ、一般會計ヨリ之ヲ支出スルハ甚ダ困難ト考ヘラレタノハ、是亦多少無理ナラヌコトト存ズルノデアリマス、即チ遞信大臣ノ立場ヨリスレバ何トカシテ鐵道國有ヨリ生ズル結果ヲ完全ニ致シテ參ラネバナラヌ責ガアル、大藏大臣ハ又一般會計ノ關係ニ依ツテ十分ノ資金ヲ支出スル譯ニモ參ラナカッタ、此關係ハ遂ニ山縣遞信大臣ト阪谷大藏大臣トノ間ニ避クベカラザル確執ガ起ツテ參ツタノデアリマス、私ハ當時遞信次官トシテ能ク其事情ヲ了解シテ居ルノデアリマスガ、私ハ此間ノコトヲ今日考ヘテ見マシテモ甚ダ傷マシク存ズルノデアリマス、遞信大臣大藏大臣何レモ皆其職責ヲ守ラレルコトノ爲ニ、固ク執ツテ動クコトガ出來ナカッタ、是ハ國務大臣トシテ實ニ責任ヲ重ンズル方々デアッタと思フノデアリマス、其結果ハ山縣遞信大臣阪谷大藏大臣ハ何レモ冠ヲ挂ケテ其責ヲ引イテ退カレタノデアリマス、國務大臣トシテハ實ニ斯クアルベキコトト私共ハ考ヘル、實ニ其職責ヲ重ンズルコトノ厚キ、意見ノ爲、主張ノ爲ニハ斷然冠ヲ挂ケテ而シテ退カレ、是ガ何ニ基シマスカト申シマスレバ、即チ鐵道建設改良ノ資金ヲ一般會計ヨリ支出イタシテ居ルト云フ事柄ガ、遂ニ斯ル結果マデ惹起スコトニナツタノデアリマス、是ニ於テ其翌年成立シマシタル桂内閣ハ、其前年來ノ事柄ニ鑑ミラレテ、是ニ於テ其係累ヲ絶ツ爲ニ、解ク爲ニ、再ビ斯ルコトノナイヤウニト云フノデ、茲ニ鐵道ニ關スルコトハ鐵道特別會計法ヲ以テ、鐵道ヲ本體トシ、鐵道ハ既ニ其當時ニ於テ約十億圓以上ノ資産ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ本體トシテ相當ノ方法ヲ立テテ行クヤウニシタイ、一面一

般會計ニ對シテハ其係累ヲ及ボサヌコトニシタノガ、四十二年ノコトデアリマス、當時若槻君ハ次官トシテ專ラ其點ニ付テ御盡力ニナタト存ズルノデアリマス、斯様ナ筋合ノモノデアリマスモノヲ、此度再ビ一般會計ヨリ支出ノ道ヲ開クコトニナリマシタナラバ、恰モ前年ノヤウナ關係ヲ再ビ繰返スコトニナリハシマセヌカト私ハ存ズルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ大藏大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、再ビ前年ノヤウナコトヲ繰返スヤウナ結果ヲ生ジ、非常ナル之ガ紛糾ノ端トナリハシマセヌカ、當時桂内閣ガ整理ノ根本トシテ斷然立テラレタ方針ハ之ニ依ッテ破レルヤウナ端緒トハ相成リマセヌカ、之ヲ第一ニ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、其次ニ國債整理基金ノコトゴザイマス、之ニ付キマシテ唯今種々ノ理由ヲ御述ベニナリマシタ、去リナガラ其重ナル事柄ハ何デアアルカト申シマスレバ、言フマデモナイ年々五千万圓ツツ償還スベキ筈ノ中カラ、二千万圓ヲ以テ之ヲ鐵道ノ資金ニ嵌メタイト云フコトガ重モナ理由タルコトハ爭ヒ難イコトデアラウト存ジマス、國債整理基金ノコトハ明治三十九年日露戰役ニ於キマシテ消費サレマシタ其經費ニ付テ、我帝國ハ大枚ノ負債ヲ荷ウテ居ルノデアリマス、一日モ速ニ之ヲ償還シテ適當ノ處置ヲ執ルト云フコトハ最大肝要ナコトトシテ、戰時ト等シイ状態ニ於テ非常特別稅モ繼續セラレ、殊ニ一億一千万圓ノ金額ヲ以テ國債償還ノ基金、殊ニ日露戰役ニ消費サレタル金額ノ償還ヲ重ナル目的トセラレタノハ、即チ戰後ノ經營トシテ明治三十九年ノコトデアリマス、而カモ其後先刻申シマスル通りニ桂内閣ノ立チタル、明治四十二年後ノ狀況ハ公債ハ甚シイ悲境ニ沈淪シテ居ッタ、九十圓臺ノモノガ八十圓臺ニナリ、遂ニ七十圓臺ニモ陥ッテ仕舞ッタ譯デアアル、加フルニ鐵道ノ買収トシテ四億八千万圓ノ不日發行シナケレバナラヌ事情ニナッテ、是等ノ事情ガ内外ノ市場ニ對シテ甚シキ壓迫ヲ加ヘ、其結果ハ公債ガ甚シイ悲境ニ沈淪シタ爲ニ、單リ政府部内ノミデハナイ、一般ノ状態ニ於テ成ルベク公債ノ信用維持ヲ圖リ、是ガ確實ニナルヤウナ途ヲ講ジテ貫ヒタイト云フ一般ノ希望デアッタ思ヒマス、桂内閣ハ能ク此趨勢ニ鑑ミラレマシテ、公債ノ整理及其信用ヲ増スコトニ付テハ最大ノ努力ヲ致サレタモノト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ行政整理、財政整理ニ依ッテ得タル金額ハ公債償還ノ方ニ當テラレタ、加フルニ公債ノ利子ニ付テハ所得稅ヲ免除スル方法ヲ取ッテ、有ラユル方法ヲ講ジテ年々五千万圓ツツノ償還ヲシテ、中外ニ向ッテ大ナル安心ヲ與ヘ、ソレニ依ッテ信用ヲ高

メヤウト云フ途ヲ講ジタ、此政策ハ著々功ヲ奏シテ、七十圓臺ニマデ沈落シテ居ッタ公債ガ八十圓トナリ九十圓トナリ、遂ニハ額面ヲ超スヤウニナッタ次第デアアル、此五千万圓償還ト云フコトハ、當時ノ桂内閣ハ中外ニ對シテ甚ダ重キヲ置イテ保證サレテ居ッタ事柄ト存ズルノデアリマス、單リ國內ノ關係ノミナラズ、外各國ニ對スル上ニ於テモ、此保證ハ隨分強イ關係ヲ有ッテ居ッタト私ハ存ズルノデアリマス、ソレヲ他人ハイザ知ラズ、若槻君ノ手ニ於テ此根柢ヲ破却スルヤウナ端ヲ御啓キニナルト云フコトハ如何ナルコトデアラウト私ハ考ヘル、此金額二千万圓ヲ以テ鐵道資金ニ當嵌メルト云フ、事甚ダ容易ニ聞エル、去リナガラ此二千万圓ハ一般會計ニ屬スル金額デアリマスルカ、之ニ對シテハ種々ナ要求ヲ鼓舞スルニ相違ナイ、或ハ之ヲ以テ減稅ノ費用ニシタイ、廢稅ノ費用ニシタイト云フヤウナ要求モ一面ニハ鼓舞サレルニ違ヒナイ、或ハ國防ノ爲ニ使ヒタイ、軍事ノ爲ニ使ヒタイト云フ感ジテ有タストモ限ラヌ、更ニ各省ニ於テハ種々ナ經營モ致シタイ、種々ナ事業ノ經畫ヲ致シタイト考ヘルノデアリマスカラ、茲ニ二千万圓ト云フ金額ガ出來テ來タ以上ハ、縱シヤ一方政府ニ於テハ、是ハ鐵道ノ資ニ當嵌メル積リデアルト考ヘテ居リマシテモ、一時ノ考ハ後々ニ至ッテドウ云フ結果ヲ生ズルカモ知レスト思ヒマス、サウ致シマスルト、遂ニハ二千万圓ノ金額ニ付キマシテハ、是ガ種々ナ要求ヲ鼓舞シ惹キ起スノ基ニナッテ、避クベカラザル紛亂ヲ來タシハシナイカト思ヒマス、極メテ事ハ簡單ニシテ便利ノヤウニ御心得ニナリマスケレドモ、此極メテ姑息ナル方法ハ遂ニ種々ノ禍害ヲ包藏スル基トナラヌカト私ハ存ズルノデアリマス、何ガ故ニ斯ル途ヲ御執リニナリマシタカ、此内閣成立ノ初メ、殊ニ若槻大藏大臣ハ公債ヲ募集シナイ、非募債主義デアアル、此事柄ヲ高ク唱ヘラレタ、ソレヨリ後ニハ非募債主義ト言ウタヤウナコトハナイ、近來ハ段々其事柄ニ付テ御取消ニナッテ居リマス、過日來ノ衆議院其他ノ狀況ヲモ詳シク拜聽イタシテ居リマスルガ、現實デアアル、現實デアアルト仰セニナッテ居ル、總テ現實デゴザイマス、若モ現實デアアルト致シマスルナラバ、昨年ノ狀況ニ於テ一面公債ノ募集ニ困難デアリマシテ且ニ夕ヲ計ラレザル經濟狀況、今日ヨリ明日ヲ推測スルコトガ出來ナイ經濟狀態デアアル、何時如何ナル狀況ヲ呈スルカモ知レヌノデアリマス、又公債募集ノ出來ヌ場合ニ公債ヲ募集セヨト申ス者ハ誰モゴザイマスマイト思ヒマス、又募集シ得ル時機ガ到來シタナラバ、一面是ガ生産的ノモノデアリマシテ利廻リモ相當ニ廻ハルモノ

デゴザイマシタナラバ、之ヲ募集スルコト何ノ不可カアル、サウスレバ是ハ皆時ニ關シ場合ニ關スル問題デアリマシテ、茲ニ主義ナルモノノアルベキ筈ハナイ、ソレヲ餘リニ高ク唱ヘラレマシタ結果ガ、遂ニ自繩自縛ノコトニ陥リハシナカッタカ、一切公債ヲ當分募ラヌト仰セニナッタ結果ガ、遂ニ五千万圓ノ中カラ二千万圓ヲ取除ケテ、已ムヲ得ズ之ヲ鐵道ノ資金ニ流用シナケレバナラヌト云フヤウナ結果ニナツテ來タノガ、是コソ所謂自己ノ言葉ニ依ツテ自ラ囚ハレテ仕舞ッタト云フ結果ニナリハセヌカト私ハ存ズルノデアリマス、又是ガ單ニ一時ノコトデアリマスナラバ、何故基金法ナル大切ノ法律マデモ變更シナケレバナラヌカ、鐵道資金ニ伴フト仰セラレマスガ鐵道ニ付キマシテモ其通りデ、之ヲ十分調査シテ見マス、三十五議會即チ前議會ニハ、鐵道ハ向フ十三箇年ノ經畫ヲ立テマシテ……向フ十三箇年ノ經畫ヲ立テマシテ、年々約四千万圓乃至五千万圓ノ内カラ年度割ヲ以テヤルベキコトニナツテ居リマシタ、ソレデアリマスカラ、マダシモソレト伴ウテ片一方ニ約二千万圓ニ相當スル金額ヲ支出スル方法トシテノ立テ方ガ、マダシモ理窟ガ通ルノデアアル、然ルニ今年ノ鐵道豫算ハ如何デアリマスカ、今年ノ鐵道豫算ハ昨年ノ十三年經畫ニ相當スベキモノハ提案セラレヌ、差向キノ經畫ニナツテ居ル……差向キノ經畫ニナツテ居ル、若シモ是ガ差向キノ經畫デアルト致シマスカ、一時ノ途ニ依ツテ何トデモ工夫ガ付クモノト思フ、私ハ今日經濟社會ノ狀態カラ考ヘマスレバ、一面ニ五千万圓償却ヲ致シテ、其内カラ事實二千万圓ヲ擲ヒ上ゲラレルコトハ、左シテ困難デナカラウカト思ヒマス、ソレモ困難デアアル、其手數ヲ取リタクナイト云フナラバソレデ宜シイ、何故此基金法ニ依リマシテ……此基金法ノ規定ハ甚ダ簡便ニ都合好ク出來テ居ル、場合ニ依ツテハ此基金法ノ規定ニ依ツテ、相當ノ途ニ依ツテ利殖スル途モアル、他ニ貸付ケル途モアル、ソレデアリマスカラ單ニ一時ノ便ニ供スル積リナラバ、何モ基金法自ラニ手ヲ付ケズトモ、今年ハ今年、來年ハ來年デ、二千万圓位ハ何トデモ都合ガ付クデアリマスマイカ、夫レ是レ考ヘ合セテ見ルト、實ニ今日此場合ニ於テ、大切ナ基金法全體ニ手ノ付クコトハ如何ナル次第デアアルカト存ジマス、以上申シマシタ點ニ付キマシテ、ドウカ茲ニ明瞭ナ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、尙ホ其御答辯ニ依リマシテ更ニ伺ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 一般會計ト鐵道會計トノ關係ヲ申上ゲタイノデアリマスカラ、仲小路君ノ今一番御終ヒニ述ベラレタヤウナ點ノ一部カラ申上ゲマス、今回提出シテアリマス鐵道經畫ハ第三十五議會ニ提出イタシマシタノトハ違ツテ居リマシテ、大正四年ニ著手スルモノノ費用ダケガ求メテアルノデアリマス、ソレ故ニ一時日前ノ經畫デアアルノダカラ、公債ノ經畫モ目前ノ事ニ伴ハシメテ宜イヂヤナイカト云フヤウナ御疑念ガ起ッタラウト思ヒマスガ、實ハ政府ノ經畫ハ第三十五議會ニ提出シタ通りナ鐵道經畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今回其經畫ノ一部ノミヲ出シマシタノハ、議會ガ臨時議會ノコトデアリマスカラ、成ルベク一般ノ經畫ニ屬スルモノハ通常議會ニ於テ能ク御審議ヲ願フヤウニシタ方宜シイ、此特別議會ニハ是非御審議ヲ願ハヌケレバ運ビノ付カヌモノダケヲ提出シタ方宜シイト云フ意味ニ於テ、今回ハ大正四年カラ著手スルモノダケヲ提出シタノデアリマスケレドモ、政府ノ鐵道經畫ナルモノハ第三十五議會ニ提出シタ經畫ヲソレヲ矢張り持ツテ居ルノデアリマス、一々數字ノ細カイ事ハ申上ゲマセヌガ、大體ニ於テハ今日ノ鐵道ヲ以テ是ガ改良ヲ爲シテ行キ、竝ニ政府ガ幹線ノ聯絡ニナルベキモノノ中最モ急ナモノヲ漸次ニ建設ヲシテ、聯絡ヲ完ウシテ行カウト思ヘバ、年々凡ソ五千万圓グラキナ金額ヲ建設改良費ニ充テナケレバナラヌト云フ大體ノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、今日ハ鐵道ノ益金ガ千八百万圓シカナイノデアリマスカラ、今日カラ直チニ五千万圓ノ金額ヲ建設改良費ニ使ハムトシマスレバ、餘程ノ大ナル金額ヲ他カラ融通シテ來ナケレバナラヌ、是ハ今日ニ於テ到底左様ナ經畫ヲ立ツル譯ニ行カヌ、ソレデ大體ノ考ハ、鐵道ノ益金ガ今日ハ千八百万圓デアアルケレドモ、漸々増加スルノデ、幾ラ増加スルカト云フ精確ナ數ハ、ハッキリ今日カラ見込ノ立ツモノデアリマセヌガ、既往ノ經驗ニ依ツテ推シテ見マスレバ、凡ソ年々二百万圓位ノ益金増加ハアルモノト思ヒマスカラ、ソレヲ土臺ニ置イテ宜シイト云フ考ヲ持ツテ經畫ヲ立テテ、大正四年度ハ千八百万圓ノ益金ガアル、之ニ他カラ融通スル金ヲ二千万圓位加ヘルト三千八百万圓ノ建設改良費ガ使ハレル、大正五年度ニ於テハ千八百万圓ノ益金ガ二百万圓増加シテ二千万圓ノ益金トナル、之ニ他カラ二千万圓融通スレバ四千万圓ニナル、其翌年ハ益金ガ二千二百万圓ニナル、之ニ他カラ二千万圓融通スレバ四千二百万圓ニナル、其翌年ハ益金ガ二千四百万圓ニナル、之ニ他カラ二千万圓融通スレバ四千四百万圓ニナル、斯様ニシテ進ンデ

行クト、七年ノ後デアリマシタカ、六年ノ後デアリマシタカ、或年數ヲ經ル
ト年々五千万圓ヅ使フコトノ出來ルヤウニナル、其翌年ニ若シ二千万圓融
通シテ使フナラバ、五千二百萬圓鐵道ノ建設改良ヲスレバ宜シイト考ヘマスカラ、五
千二百萬圓ニナルナラバ、融通スル金ヲ二千万圓カラ減ジテ千八百萬圓ニス
ル、サウスルト益金ガ三千二百萬圓アルノト千八百萬圓融通スルノト合セテ
ソレデ五千万圓ニナル、其翌年ハ益金ガ更ニ二百万圓増加シマスレバ融通ス
ル金ヲ千六百万圓ニ減ズル、其翌年ハ又二百万圓増加スレバ融通スル金ヲ千
四百万圓ニ減ズルト云フヤウニシテ、ズット先キニ至レバ二千万圓ノ融通ヲセ
ヌデモ、鐵道ノ益金ノミデ全ク建設改良ノ出來ルヤウニ爲スヤウニシヤウト
云フガ大體ノ政府ノ考デアアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ一般會計カ
ラ此七八年ノ間此二千万圓ヲ鐵道ニ融通スルコトニスレバ、鐵道ノ方ハソレ
ニ基イテ經畫ヲ立テテ行クト云フノデ、此經畫ヲ守ッテ行ケバ、仲小路君ノ御
心配ニナツタ鐵道院ノ當局ト大藏省ノ當局ト意見ノ衝突ヲ來タシテ、一般會計
ト鐵道ノ特別會計トノ間ノ圓滿ヲ缺クヤウナ虞ガアリハセヌカト云フ御心配
ニ付テハ、唯今ノヤウナ經畫ヲ進行スレバサウ云フ虞ハナクテ濟ムト云フ、
斯ウ云フ見込ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ五千万圓償還、今日ノ國債
整理基金法ト云フモノヲ日露戰爭以後ニ拵ヘテ、更ニ第二柱内閣ニ於テハ元
金ノ償還額ヲ千五百万圓増加シテ、年々五千万圓ノ償還ヲスルト云フ經畫
ヲ立テタコトニ付テ、斯様ナ經畫ノ根本ノモノヲ拵ヘタノニ、今日之ヲ變ヘル
ト云フノハ宜シクナイデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、私共五千万圓
ヲ償還スルト云フ經畫ヲ立テマシタトキ、無論私共ハ與ッテ居ル事柄デアリ
マシテ、日露戰爭ニ依ッテ公債ガ急激ニ増加シタノデアリマスカラ、ドウカシ
テ公債ノ高ガ或程度ニ減ズル迄ハ成ルベク償還ニ努メテ、國債ノ償還ヲ多ク
シテ、サウシテ一方ニハ公債ノ負擔ヲ減ジ、一方ニハ公債ノ信用ヲ高メテ行
クヤウニシタイト云フコトニ於テハ、今日尙ホ前日ノ通りデアアルノデアリマ
ス、若シ五千万圓ノ償還金ヲ減ゼズシテ濟ムコトデアリマスタラバ、無論五
千万圓ヅツ償還スルコトヲ續ケテ行キタイノデアリマス、ソレガアツテモ國債
整理基金法ハ改正シナクテハナラヌト云フコトヲ私ハ主張スルノデアリマ
ス、ソレハ前ニ申上ゲタ通り二ツノ點カラ今日ハ改正ヲ要スルヤウニナツテ
居ルト言ッテ前段ノ理由ニ依ッテ、償還金五千万圓ヲ續ケテ行クトシテモ、今

日ハ國債整理基金法ハ改正シナケレバナラヌト云フコトヲ主張スルノデアリ
マスガ、其點ハ別トシテ置イテ、五千万圓償還ヲスルト云フコトヲ、其内カラ
二千万圓ダケ償還ヲ減ズルコトニスルト云フ其一點ダケ申上ゲテモ、出來
ルコトナラバ年々五千万圓償還スルト云フ經畫ヲ維持シタイノデアリマス、
無論其方ガ宜イノデアアル、併ナガラ之ヲ維持スルナラバ一方ニハ公債ヲ募集
シテモ日本ノ今ノ經濟狀況ニ於テハ惡ルイ影響ノ生ゼナイト云フ見込ガ立タ
ナケレバ行カナイ、此見込ナシニシテ置イテ、サウシテ鐵道ノ資金ハ矢張り
今日ハ益金ノミデハ辨ジ得ナイト云フコトヲ前提トシテ置イテ、サウシテ申
シマスナラバ、私共ハ今日ノ場合ニ於テ無理ヲシテ公債ヲ募集スル上カラ、
日本ノ財政ノ上ニ受クル所ノ信用ヲ損ズル事柄ト、五千万圓ノ償還ヲ三千万
ニスルト云フコトカラ、幾ラカ公債ノ上ニ付テ期待ガ變ジタト云フコトノ、
雙方ノ何レノ方ガ國ノ全般ノ信用ノ上ニ於テ餘計ニ害ガアルカト言ヘバ、私
共ハ今日此經濟狀況ニ於テ二千万圓ノ公債ヲ無理ヲシテ内外市場デ募集ヲシ
ヤウト云フコトヲスル方ガ餘計ニ弊害アリト見テ居ルノデアリマス、此點ニ
付テ意見ガ別レバ仕方ガアリマセヌガ、私共ハ公債ノ償還ニハ努メタイノ
デアアル、併ナガラ償還ニ努メル結果、一方ニ公債ヲ惡ルイ條件デ募集スルナ
ラバ、ソレカラ起ル害ハ公債ノ償還額ヲ二千万圓減ズルヨリモ尙ホ一層大ナ
ル國ノ信用ノ上ニ害ガアリト斯ウ見テ居ルモノデアリマスカラ、大ナル害ヲ
避クル爲ニ小ナル點ヲ讓ッテ掛カル外ナイト云フノガ、今日ノ政府ノ經畫デ
アルノデアリマス、殊ニ又今日内外市場ニ於テ公債ヲ募集スルト言ヒマスケ
レドモ、外國ニ於テ日本ガ今日公債ヲ募集スルト云フコトハ私ハ殆ド出來ナ
イコトト思フノデアリマス、今日ノミナラズ最近ノ年ニ於テ相當ナ條件デ外
國デ新ニ公債ヲ募集スルコトノ出來ル時機ガ到來スルト云フヤウニハ私ハ思
ヒマセヌ、内地ナラバ二千万圓位ヲ……一方ニ五千万ノ償還ヲシテ置イテ、
一方ニ二千万圓ノ募集ヲスル位ノコトハ出來ル譯合デアルト云フ仲小路君ノ
御論デアリマシタガ、是ガ亦意見ノ相違デアリマス、五千万圓ノ償還ヲシテ
二千万圓内地デ募集スルコトカラ起ル日本ノ經濟上ノ影響ト、ソレヲセナイ
デ其代リ必要ナル資金ハ公債ノ償還金ヲ以テ充テテ、公債ヲ募集セナイト云
フコトカラ生ズルコトノ經濟上ノ影響ト、ドチラノ方ガ今日餘計ニ惡ルイ影
響ヲ來タスカト言ヘバ、私ハ内國市場ニ於テ公債ヲ募集スル方ガ不良ノ影響
ヲ餘計ニ與ヘルト見テ居ルノデアリマス、左様ナ狀況デアリマス以上ハ、私

自身ガ關係シテ出來上ツタ經畫デアリマシテモ、國家ノ全體カラ考ヘテ其事ヲ無理ニ通サウト思ヘバ、其方ガ餘計ニ國ノ上ニ不良ノ影響ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコト考ヘマスカラ、ソレ故ニ今回ノヤウナ經畫ヲ立テ次第デアリマス、前ニ申上ゲタ通り政府ノ鐵道ニ對スル考ハ唯今提出シテアリマス案ハ、特別議會ナルコトニ、臨時議會ナルコトニ顧ミテ、大正四年度ニ著手スル鐵道ノ費用カラ見テアリマスケレドモ、經畫ハ依然トシテ前ニ提出シタヤウナ經畫デアリマシテ、ドウシテモ益金ノ外ニモ二千万圓位ナ融通金ヲ、今後七八年ノ間繼續シマセヌケレバ實行ノ出來ナイ經畫ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ今後數年ノ間ソレナラバ直チニ此鐵道ノ資金ニ付テ内外市場デ公債ヲ募集スル見込ガ立ツカト言ヘバ、私ハ唯今申上ゲル通り、其募集ノ出來ルト云フ見込ノ立チマセヌ上ニ、之ヲ募集シタナラバ日本ノ經濟市場ニハ中々惡ルイ影響ガ來ルト斯ウ見テ居ルモノデアリマスカラ、此所ニ基金法ヲ改正シテ、鐵道ノ資金ノ事柄モ確定シテ經畫ヲ十分ニスルト同時ニ、一方ニハ他ノ理由ニ依ッテ改正ヲ要スル必要ニ迫ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレト共ニ唯今ノ財政經畫ノ實行ノ出來ルヤウニシタ方ガ宜イト、斯ウ云フ意味デ今回ノ經畫ヲ提出シタ次第デアリマス、大體ハソレデ御答辯ニナッテ居リハセヌカト思ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 時刻ニナリマシタカラ一應休憩ヲ致シマス
午前十一時五十七分休憩

午後零時五十八分開會

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

[河井書記官朗讀]

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
無線電信法案可決報告書

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○仲小路廉君 此法案ハ今朝私ノ質問ニ對シテ大藏大臣ノ御答辯ヲ得マシタガ、私ハ折角大藏大臣ヨリノ御答辯ニ満足ヲ致シマセヌノデアリマス、尙ホ種々御尋イタシタイ點モアリマスガ、本日ハ尙ホ他ニ質問ヲセララル方、ガ

アラウト思ヒマス、何レ其中機會ガアラウカト存ジマスカラ、私ハ本日ハ是デ控ヘルコトニ致シマス

[男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル]

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ日程ニ從ヒ二段ノ質問ヲ大藏大臣ニ致シマス、中ニ分ケテ凡ソ六點ホド伺ヒタイ、先ヅ第一ニ一般會計ヨリ貸付ケルト云フ此法案ガ如何ナル行政ノ法理ニ基クモノデアルカ、本員ノ如キハ之ヲ解スルニ苦シミマス、如何トナレバ明治三十七年日露戰役ノ初メ、時ノ急要ヲ達スルガ爲ニ法律ガアリマス、其法律ニ依レバ政府ノ特別基金、資金ノ金ハ之ヲ戰時ニ要スル費用ニ流用スルコトヲ得ト云フヤウナ法律ガアリマス、其法律ハ大藏大臣必ズ審ニ之ヲ知ラルルダラウト思ヒマス、其法律カラ見マスト云フト、政府ハ必要ノ場合ニ於テ國家ノ緊急ニ迫ラレテ、基金資金ヲ戰時ノ用ニ供スルト云フノデアリマスカラ、ソレヨリ推シテ考ヘレバ、元來國家ノ有スル基金ハ、其中ニ於テ預金ノ如キモノハ、是ハ預金ト云ヘバ殆ド銀行ノヤウナモノ、預金部ノ有スル有價證券ノ如キモノハ外ニ流用シテ利殖シテモ宜イト云フ行政ノ法理ニ相違ナイ、然ルニ一般會計ノ金ヲ或營業的ノ事業ニ供シテ、之ヲ利殖スルト云フコトハ何分本員ニ於テハ之ヲ解シ能ハヌ、何トナレバ凡ソ國家ノ行政ニシテ稅ヲ取ッテ置イテ其稅ヲ他ニ貸付ケテ利殖スルト云フヤウナ理窟ハ存在セザルコトト思ヒマス、若シソレホドノ餘裕ガ國庫ニ存スルナラバソレヲ生ゼシムル其稅ハ徵收セザルガ宜シイト思ヒマス、成ルホド法律ハ萬能デアリマスカラ、如何ナルコトモ規定スレバ法律トナッテ效ハゴザイマセウガ、此日程ニ上リタル鐵道會計法ノ改正ノ、唯今述べルヤウナ實際ニ互ル法律ハ、私ハ善良ナル法律ト思ヒマセヌ、故ニ此點ニ對シ審ニ本員ノ疑ヲ解カレムコトヲ希望シマス、是ハ第一段ノ質問デアリマス、第二段ニ於テ更ニ本日ノ日程ニ從ヒマシテ國債整理基金法ノ改正ノコトデアリマス、元來明治三十九年法律六號ノ執行以來右ノ法律ノ目的ヲ遂行シタル結果ハ餘リ多クデハナイト思ヒマス、何トナレバ明治三十九年ノ法律六號ト云フモノハ三十七八年戰役ノ爲ニ發行セラレタル公債ノ整理方法デゴザイマシテ、其現在ニ於ケル結果ハ如何デアルカ、内國債ニ於テハ三億七十餘萬圓ヲ尙ホ存シテ居ル、其内譯ハ何デアルカト云ヘバ、例ヘバ五分利公債特別五分利公債若クハ第一四分利公債、第二四分利公債、是等ヲ合シテ三億七十餘萬圓ニナッテ居リマス、右ノ三十九年法律六號ニ依ッテ還債處分ヲ了スベキ

其他ノ外國債ハ十億二百九十九萬圓ヲ存シテ居リマス、是ハ第一四分利、四分半ノ公債、第二四分半利ノ公債、第二回四分半ノ公債、五分利公債、唯今現ニ大正四年此六月ニ於テ、尙ホ合計十三億二千七百九十三萬圓ヲ存シテ居リマス、當初ノ所謂戰時公債ハ稍、十五億ニ近クゴザイマシテ、其償還ノ成績ト云フモノハ餘リ多クデハナイ、是ハ論ズルマデモナク數ニ於テ明カデアリマス、然ルニ現在額ハ斯ノ如クデアアルノニ將來大正十五年度マデニ還債ヲ要スル外國債ノ額ハ合計六億七千二百六十三萬圓アリマス、其中ニ就テ五億五千五百五十七萬圓ナルモノハ即チ最前申上ゲマシタル所ノ第一回四分半利付ノ英貨公債第二回四分半利付ノ英貨公債ノ二ツデアリマス、之ニ對シテハ當時ノ勅令ガゴザイマス、其第一ニ付テ明治三十八年ノ勅令七十八號ニ於テハ其六條ニ於テ、本公債ノ元利金ノ償還ハ煙草專賣收入ヲ以テ擔保セラルルモノトスト書イテアリマス、又同ジク引續イテノ第二回四分半利付英貨公債ニ付キマシテハ勅令百九十四號ニ於テ、本公債ノ元利金ノ償還ハ煙草專賣收入ヲ以テ擔保トス其順位ハ三十八年三月發行ノ英貨公債三萬圓ノ次トストアリマス、尙ホ其次ノ條ニ於テ三十八年三月發行ノ英貨公債償却ノ後ハ本公債ハ煙草專賣收入ヲ優先ニ擔保セラルベシト書イテアリマス、此勅令ハ今日ニ於テモ尙ホ效力アリト認メマスガ、是ハ別ニ其後改メラレタル勅令モマダ本員ハ見マセヌカラ質問ノ要ハナイ、唯是等ヲ包含スル將來ニ於テ償却ヲ要スル六億七千二百六十三萬圓ナルモノハ大正十五年迄ニ唯今ノ如ク明白ナル證文ニ依ッテ、證書ニ依ッテ償却ヲスベキモノデアッテ、其中ノ五億五千五百五十七萬圓ナルモノハ今ノ如ク帝國政府ハ煙草專賣收入ヲ擔保トスル、即チ勅令ニ於テ明記シテアル、私ハ政府ニ對シ、殊ニ現任大藏大臣ニ對シ、公債ノ募集ノ將來ニ於ケル方法若クハ見込、其可能不可能ノ見込ト云フコトハ別ニ承リマセヌ、大藏大臣ハ繰返シテ曩ニ三十九年ニ其經畫ニ參與シタ時ニ較ブレバ今日ハ周圍ノ事情大ニ變化シテ居ル、斯ウ言ハレル、即チ此内閣ノ組織ニ際シテモ其事ヲ言ハレ、又昨年三十五回ノ帝國議會ニ於テ大正三年十二月九日ニ於テ其事ヲ言ハレテ居リマス、其事ニ對シテハ本員ノ如キハ別ニ意見ヲ有シテ居リマスルガ、是ハ意見ニ涉リマスカラ能不能ト云フコトハ本員尙ヒマセヌ、故ニ其點ニ對シテ別ニ大藏大臣ノ本員ニ對スル説明ハ必要デアリマセヌ、ソレニ付テハ本員ハ求メマセヌ、唯私ハ單一ナ計算上、ドウシテ是カラ算盤ヲ取ラレルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、既ニ申シマシタル如ク現在存在スル

三十七八年ノ戰役ノ結果、三十九年法律六號ニ依ッテ償却ヲ要スル、即チ法律六號ノ第六條ノ意味ハ毎年五千萬圓ツツヲ、償却シテ一年ニ元利償還額ハ一億一千万圓ヲ下ルコトヲ得ズト云フ其法律ニ基イテ、今日償却シツツアル其戰時公債ナルモノハ、內國債ナルモノハ三億七十餘萬圓外國債ガ十億二百九十九萬圓、合計十三億二千七百九十三萬圓ト云フモノガアル、其内ニ於テ尙ホ將來五億五千五百五十七萬圓ト云フ大正四年ニ返サナケレバナラヌト云フモノガアル、而カモソレハ煙草專賣收入ガ擔保ニナッテ居ル、斯ウ云フコトデアアル、之ニ對シテ現行ノ法律ヲ行ッテ往ケバ即チ毎年五千萬圓ノ償却ヲスルニ依ッテ、十年ノ後ニハ五億圓ヲ返ス、即チ唯今計算シテ大正十五年迄ニ返還スベキ六億七千三百萬圓ノ中ノ大部分ヲ返セル譯ニナル、之ヲ此度ノ如ク改正シテ三千万圓ヲ返ス時ニハ向フ十年ノ間ニ三億圓ノ外ハ返スコトヲ得ザルコトニナル、故ニ右ノ如キ實況デアアルカラ、本員ハ茲ニ大藏大臣ニ敢テ請ヒ問ハムトスルノハ、今ノ狀況ニ於テ大正十五年迄ノ間ニ之ヲ圓滿ニ借替ヘサスルコトヲ遂行セラルルヤ否ヤト云フ點ニ付テ多少ノ説明ヲ仰ギタイト思ッテ居リマス、無論外國市場ナルモノハ本員ニ於テトスベキモノデハナイ、即チ大藏大臣ノ言ハレル現實ニ據ルノデアアル、敢テ將來ハ今ニ於テ豫知スベカラザルコトデアアル、去リナガラ此兩案ハ、鐵道ノ案ト云ヒ、國債整理基金法改正ノ案ト云ヒ、此兩案ハ國家根本ノ經綸問題デアアル、サラバ極ク遠キ將來ハ別トシテ、數年先キノ未來ハ經綸ノ責ニアルモノハ之ヲ稽ヘテ居ラザルベカラザルコトデアアルト私ハ思フ、今ノ如ク唯計數ノ上ヨリ見マセバ此議場ニ提出セラレタル國債整理基金法ノ改正案ナルモノハ寧ロ大正十五年迄ノ六億七千萬圓ノ償還方法ニアラズシテ、大部分以上借替法ナゾト云フモノヲ含ムモノト認メザルヲ得ヌノデアリマス、若シ之ヲ借替ヘムトスルナラバ、是ハ自分一人デ借替ヘル譯ニハイカヌ、對手人が要ルノデアリマス、殊ニ第二回四分利付英貨公債ニ對シテハ三十八年ノ勅令百九十四號、其一條ニ於テ此公債ハ英國倫敦、北米紐有獨逸國ニ於テ英貨公債三千萬磅ヲ募集スルモノトスト云フコトニ明記シテアルノデアリマス、此成立ニ付キマシテハ御承知ノ通り三十八年六月十日以來七月二十日ニ涉ッテ、時ノ政府ガ獨逸國ヲ介シテ此第二回公債ノコトニ斡旋ヲ得タノデアリマス、此ノ如キ狀況ノ下ニ於テ、是ヨリ十年先キト申セバ甚ダ近イノデアリマスガ、法律上償還スル額ニ對シテ、現ニ此法律ヲ改メテ償還スル額ニ對シテ、即チ三千万圓トナスノ結果ニ對シテ償還

スベキモノハ倍以上デアリマス、殊ニ借替ヘハ是ハ私ハ惡イトモ何トモ言ハナイ、借替ヘハ無論希望イタシマスガ、随分困難デアルト思フ時ニ當ツテ如何ニシテ此見込ヲ遂行セラルルヤ、多少一國ノ經綸ニ當ル人ハ腹案ガアリマセウ、其概要ヲ示シテ貴族院ノミナラズ、國民ヲシテ安心セシメラレムコトヲ私ハ求メマス、今歐羅巴ニ於ケル大戰局ノ眞タダ中ニアリマシテ、業ニ已ニ各交戰國ノ發行スル公債、借入金、大藏省證券、國庫債券ノ如キ、勿論其詳細ナルコトハ本員ハ確知シマセヌ、蓋シ當局者ハ十分御調べデアリマセウ、唯本員聞キ知リタル大要ヲ舉ゲマスレバ、英國ハ既ニ四十四億圓ノ發行ヲシテ居ル、佛蘭西ハ三十二億、露西亞ハ三十四億、獨逸ハ六十二億、奧太利ハ十億、免ニ角交戰國ノ債務ナルモノハ百八十二億圓以上ニナツテ居ル、是ハ實ニ各交戰國ハ勿論、其中ニ於テ金力、資力ノ豐富ナル英國、佛蘭西ニ對シテモ随分私ハ過大ナル負擔ダラウト思ヒマス、殊ニ英國佛蘭西ト云フモノハ自國ノ戰後ノ經營ノミナラズ、何レ戰後ニ於テハ他ノ交戰國ノ分モ引受ケナケレバナラス、宜ナルカナ英國ハ既ニ其心ヲ以テ當ツテ居ル、必ズ此戰後ノ交戰國ノ財政經濟ノ整理ノ大任ヲ英國ニ歸スルモノト思フテ居ル、サウシテ交戰國ニ於テノミナラズ、一般ノ負擔ハ英國佛蘭西ニ歸スルモノデ、加フルニ是カラ先キ將來ノ公債其他ノ増發若クハ戰後ノ増稅、其時ニ當ツテ歐羅巴ノ市場ニ於テ如何ナル模様ヲ見ルデアラウカ、ソレニ本員ノ如キハ頗ル憂慮イタシテ居ルノデアリマス、實ニ歐羅巴ノ金融市場、公債市場、其他ノ財政經濟市場ニ於テハ、一語デ言ヘバ財政ノ動員ハ最モ激甚激大ナルモノデアル、遙々日本ヨリ其際ニ出テ公債ノ借替ヘテ圓滿ニ爲シ得ルヤ否ヤ、殊ニ償還スベキ資力ガ豐富ニ存在シテ、確實デアラナラバ借替ヘモ出來マセウガ、己ノ資力ノ確實ガ稍少クシテ、ソレカラ借替ヘルト云フコトハ容易ニ出來マイ、殊ニ唯今申上ゲマシタ如ク、勅令百九十四號ニ於テモ、勅令百七十八號ニ於テモ各、其六條ニ於テ元利金ノ償還ハ煙草專賣益金ヲ以テ擔保トストアル、ソコデ本員ノ考ニ於キマシテハ、ドウモ唯今ノ豫定デハ其時ニ於テ圓滿ニ完全ニ償却ヲ爲シ得ヌヤウニ思ヒマス、又借替ヘノコトモ頗ル困難デアラウ、借替ヘルト云フコトガ困難デ有ル無イト云フコトハ論ゼズシテ、私ハ單一ナル國務ノ執政方法、國務ヲ執ル方法トシテ安全ナル方法ハ矢張り現行ヲ維持シテ普通ノ常形ニ從ツテ進ンデ行クノガ當然デアラウト思ヒマス、何ガ故ニ大藏大臣ハ三十九年前ニ於テ是ハ永久不變ノ政策ナリトスル、大正四年ノ前ニ於テハ

又而カモ大ニ周圍ノ事情異ナルト云ハレマスケレドモ、周圍ノ事情ハ前ト少シモ變リマセヌゾ、如何トナレバ此國債整理基金ノ改正ニ付テノ方針ナルモノハ内閣ノ成立ノ時ニ公表セラレ、遠ク今ノ歐羅巴ノ大戰ノ發生ニ先立ツテ、其時ニ於テ當時ノ施政ノ方針トシテ大藏大臣ハ何ト云ハレタ、凡ソ輸入超過國ノ外國債務ヲ決濟スルハ輸出超過ノ差異ニ依ル、ソレハ原則トシテハ當然デアル、併ナガラ日本ノ如キニ於テハ其實行ハ頗ル困難デアラウト思フ、ソレマデハ募債セズ、故ニ外國貿易ノ權衡ヲ保タムガ爲ニ、其時ノ方針トシテ三十九年法律六號ノ實行ハ是ハ遂行シ得ラレナイ、變ハル、事情ガ變タカラ之ヲ變ヘルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、今日ニ於テハ事情ガ變ハル、或ハ不能ト云ハレルノハ是ハ歐羅巴ノ戰局ノ爲デナイ、其前ノ平常ノ事態ニ付テ言ハレタコトニ相違ナイ、前々ノ事情ハ現行法ノ發行ノ時ト少シモ私ハ異ツテ居ラヌト思フ、私ハ此所ニ於テハ別ニ現行法、第九號ノ執行上事態ノ變遷等ノコトニ付テ大藏大臣ニ說明ハ求メマセヌ、又願ハクハソレニ對シテ御說明ヲ下サザラムコトヲ求メマス、詰リ餘計ナコトデアリマス、殊ニ其中ノ或部分ハ或ハ違憲ニ涉ルデアラウト思ヒマスカラ私モ求メマセヌ、唯私ノ今述ベマシタ如キ實況デアレバ、大正十五年迄ニ負擔スル外債ヲ圓滿ニ借替ヘルコトヲ得ルヤ否ヤ、又借替ヘルコトヲ得ザル時ニハ何ヲ以テ償還スルカ、其時分ニハ大ニ國費ヲ減ジテ裕餘ヲ作ラレテ、アトノ三億九千萬圓ヲ償還スルコトヲ得ルヤ否ヤ、又或ハ更ニ増稅デモサレルヤ否ヤ、殊ニ況ヤ明治三十九年ノ法律六號ニ定メタ返還金ハ單リ外債ノミナラズ内國債モアル、ソコデ今或ハ外國債ヲ返スコトハ難イ、内國債ハ還ヘセバ直チニ還ヘスコトガ出來ルト云ハレマスケレドモ、是ハ迎モ既ニ五分利ニシテ一億九千萬圓尙ホ其他ヲ合セ、合計三億九千萬圓ト云フノデアアル、ソナ短日月ニハ返ヘセヌ、然ラバナゼ此法律ノ遂行ガ困難デアラナラバ一時一部分ノ内國債ノ返還ヲ力メラレヌノデアアルカ、是ハ本員大ニ分ラヌ、免ニモ角ニモ日程第七、第八ノ此法案ハ國家ノ遠キ將來ニ涉ル法案デアリマス、何ガ故ニ之ヲ此短時間ノ臨時議會ニ提出セラルルノデアアルカ、是ハ本員ノ大ニ疑フ所デアリマス、一體今開カレタル此臨時議會ナルモノハ昨年……解散ノ結果増師ノ問題ニ基イテ居ル、増師ノ問題、海軍ノ問題、是ハ已ムヲ得ヌ、是ニモ意見ハアリマスケレドモ所謂從前ノ行掛リデアリマス、獨リ此鐵道ノ問題ニ付テハ從來存セザル、昨年六月ニ於テ、三十二回ニ於テ其前ニ不成立ニナリタル海軍補充費ノ提出

スラ本員ノ如キハ意見ヲ有テ居リマシタケレドモ、時ハ最モ必要ナ場合デア
リマスルカラ已ムヲ得ナイコトト思ウテ居リマス、又増師モ是モ從前ノ行掛
リテ豫算不成立ノ結果已ムヲ得ヌコトト思ヒマス、獨リ此鐵道ノコトハ増師
トモ海軍補充費トモ違フテ、全ク普通ノ營業事務、何デモナイ事務デア
ル、今日ノ鐵道ノ經營ト云フモノハ其半面カラ見レバ要スルニ一ノ營業事務デ、國
家ノ經營ニハ相違アリマセケレドモ、一ノ營業事務、即チ國民ノ經濟、國
民ノ給養、必要如何ニ從テ是ハ調和セラルベキ問題デア
ル、敢テ至大ナル陸
海軍ノ事務ノ如キ急要ナモノト私ハ思ハヌ、而カモ況ヤ此臨時議會ニ於テ一
部ヲ協贊セヨト言ハルルモ、若シ其一部ヲ協贊シタナラバ丁度大正二年ノ帝
國議會ガ海軍ノ提出ノ一部ノ協贊ヲ爲シテ後、困難ヲ見タルト同ジコトニナ
ル、殊ニ本員ガ此所ニ更ニ伺ヒタイノハ、此臨時議會ニ提出セラレタル一部
ニ基ク鐵道事業ノ追加豫算ナルモノハ一億一千萬圓デア
リマス、併ナガラ是
ハ不成立ニナリタル大正三年度ノ鐵道繼續費ノ要求八億七百萬圓ノ一部デア
リマス、其八億七百萬圓ト云フモノハ大正元年度ノ基礎ニ基ク四億五千二百
十五萬三三億五千萬ヲ加ヘタル八億九百萬ノ一部デア
ル、今此所ニ於テ鐵道
特別會計ニ依ツテ將來此所ニ提出セラルル鐵道豫算ノ協贊ハ必ズ其末ニ於テ
八億九百萬圓ノ増額ヲ認ムルト同ジク、而カモ鐵道ノ經營ニ於テ必要ナル廣
軌問題ノ如キハ如何ナル、是ハ必ズ起ルコト、今大藏大臣ノ午前ノ說明ニ於
テ暫クノ間ハ鐵道ノ資源ハ完全デア
ル、圓滿デア
ルト云ハレマシタケレドモ、
之ニ加フルニ僅ニ數年ヲ出ズシテ必ズ廣軌問題ハ起ツテ來ル、何トナレバ滿洲
朝鮮ノ運輸能力、又輸送時間、輸送能力、之ヲ比ベマスレバ内地
ノ鐵道ハ僅ニ五分ノ一デア
ル、實ニ尾大振ハズト云フコトガアリマスガ、頭
大振ハズト云フ有様デ、首尾相轉シタル有様デア
リマス、サウ云フ有様デア
リマスカラ今其事ニ付テ此所ニ述ベマセケレドモ、是ハ必ズ近キニ起ルコ
ト、然ラバ鐵道經營ノ根本ハ不定デア
ル、而カモ其資金ガ不定デア
ル、何ト
ナレバ稅ヲ以テ貸付ケ、國家ガ稅ヲ人民カラ徵收シテ而シテ利殖シテ貸付ケ
ルト云フコトハ、是程法理ニ背イタルコトハ私ハナイト思フ、斯ウ云フモノ
ヲ以テ之ヲ維持シテ行クト云フ程ノ鐵道經營ノ現今ノ有様デア
ルカラ、此鐵
道經營ナルモノハ又不定デア
ル、資本モ不定其行政モ不定デア
ル、大抵諸君
ノ中ニモ御承知デゴザイマセウ、鐵道ノ經營トシテ是ハ信用ヲ置クベキコト
デア
リマセヌ、唯今京濱電車ノ如キハ何ノ爲ニ出來タ、五百萬圓餘ノ金ヲ投

ジテ、トント運轉セヌ、其如クデア
ッタナラバ鐵道ノ行政ハ將來ドウナルカ、
加フルニ資金ハ如何、一體明治四十二年度ニ於テ鐵道ノ特別會計ノ制度ヲ制
定シテ、鐵道ト云フモノヲ一、甚大法人ト看テ之ヲシテ至大ノ權利ヲ有セシ
メ、之ヲシテ至當ナル、適實ナル公債ヲ募ラシメ、一般ノ行政上ノ公債トハ別
ニシテ之ヲ一ノ營業ノ經理トシテ行ツタト云フ方針ハ此處ニ於テ破レテ仕舞
タ、全ク破壊セラレテ仕舞ツタ、私ハ實ニ是ハ由々シイコトト思フ、斯ノ如キ
法案ヲ此臨時議會ニ提出セラレ、早急ニ議定セシムルコトハ非常ナル、私ハ
憂慮スベキコトデア
ルト思ヒマス、是ハ實ニ重大ナルコトデア
ラウト思ヒマ
ス、殊ニ現内閣ニ限ッテ總理大臣始メ本院ニ於テ頻ニ輔弼ノコトヲ口ニセラ
レル、是ハ日賀田ハ恭シク總理大臣始メニ御注意申上ゲマスガ、貴族院ニ對
シテハ斯ノ如キ御注意ハ要ラヌト思ヒマス、皆能ク心得テ居ル、斯ウ云フ大
經綸ヲ此所ニ於テ輕シク議セラルルハ私ハ大ニ其道ニ適ハヌト思フ、居リ
マス、私ハ前ニ質問イタシマシタノハ、更ニ明白ナル說明ヲ得ルガ爲ニ大藏
大臣ニ繰返シテ申上ゲマスガ、將來大正十五年マデニ返却スベキ額ハ六億七
千二百六十三萬圓ニシテ其内、五億五千五百七十七萬圓ハ各勅令ノ定メル所
ニ依リ煙草專賣收入ヲ以テ抵當ト爲ス、今此改正ヲ行フ時ハ十年間ノ將來ニ
返還額ハ三億圓ニ止マル、然ラバ是ハ將來借替ヘテ意味スルモノナルヤ、償
還ヲ意味スルモノナルヤ、或ハ増稅ヲ意味スルモノナルヤ、又或ハ其勅令ハ
直グニ廢セラレテ效力ナキヤ否ヤ、多分效力ナイモノト思ヒマスガ、是亦大
正十四年七月十四日ニ返還スベキモノハ當初三十八年六月十日以來政府ノ訓
令ヲ以テ、初メ獨逸ト交渉ヲシテ出來タモノデア
リマス、又歐羅巴ニ於ケル
戰局後ノ負擔ハ非常デア
ル、サウ云フ最中ニ於テ向フ十年間ニ借換ヲシ得ル
ヤ否ヤ、成ルホド明治三十八年ヨリ大正二年ニ互リ借入レタル公債額ハ八億
餘ニ上ツテ居リマス、是ハ平和ノ時デア
ル、今ハ平和ノ時デナイ、殊ニ將來戰
後ノ財政狀態ノ歐羅巴ニ於ケルモノハ、殆ド付度スベカラザル有様デア
ルト
思ヒマス、其中ニ於テ容易ニ出來ルヤ否ヤ、本員大ニ之ヲ憂慮シマス、ソレ
ガ第一段ノ問題デア
リマス、東ネテ御答辯ニナリマスノハ是ハ御隨意デア
リ
マスガ、願ハクハ他ノコトニ互ラザルヤウ、徒ラニ外ノ事實ヲ御述べ下サレ
テモ苟モ本員ハ存ジテ居リマス、御免ヲ蒙リタイ、唯箇單ナル說明、午前ノ
分ノ如キ實ニ餘計ナル御說明ハ日賀田ノ如キハ甚ダ迷惑、ドウゾ御免ヲ蒙
ル、ソレカラ第二段ハ國家ガ國民ヨリ稅ヲ徵收シ而シテ之ヲ貸付ケテマデ國

民ノ營業資金ヲ取ツテ宜イモノデアアルカ、サウ云フ財政經濟ノ法理ハドコニア
 ルカ、法律トスレバ宜シウゴザイマスガ、是ハ私ハ實ニ帝國議會始テ以來、
 斯ノ如キ法案ノ協賛ヲ求メラレルノハ頗ル怪シム、誠ニ日賀田ハ分ラヌ男デ
 ス、ドウゾ審ニ目賀田種太郎ニ……目賀田種太郎ノ申スコトハ貴族院議員ノ
 申スコトデアリマス、私ハ……貴族院議員トシテノ目賀田ハ餘程重ンズベキ
 デアル、輕クシク御答辯ノ無カラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 目賀田男爵ノ御質問ノ第一點、即チ特別會計ノ
 資金ヲ事變ノ場合ニ一般會計ニ繰換ヘテ使ツタ例ハアルガ、一般會計ノ金ヲ特
 別會計ニ貸付ケテ殖殖スルト云フヤウナ事柄ハ如何ナル理由ニ依ツテ左様ニ
 ナスカ、斯ウ云フ御尋ニ對シテ第一ニ御答イタシマスガ、此度ノ改正案ハ一
 般會計ノ金ヲ鐵道特別會計ニ貸付ケテ殖殖シヤウト云フ意味デアアリマセ
 ノデ、鐵道ニ付テノ資金ヲ益金以外何等カニ求メナケレバナラナイ必要ニ
 迫ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ是マデ公債募集金デ求メテ居リマシタガ、公
 債ヲ内外市場ニ募集スルコトハ戰爭前ノ狀態ニ於テ日本ノ經濟ノ上ニ私ドモ
 ハ不良ノ影響ヲ與ヘルモノデアアルト見テ居リマスルカラ、内外市場ニ公債ヲ
 募集スルコトハ改メテ掛ラヌケレバナラヌト云フ考デアリマシタガ、今回歐
 羅巴ノ動亂ガ起ツタニ付テ、益此經畫ヲ變ヘテ掛ラナケレバナラヌト云フコ
 トノ急切ヲ感ジタノデアリマス、然ラバドコカラ資金ヲ持ツテ來ルカト云フ
 ト、公債ヲ募集セナイト云フコトデ、而カモ鐵道ノ資金ハ必ズ之ヲ要スルト
 云フコトデアレバ、之ヲ一般會計ノ歳入ニ求ムル外ハ仕方ガナイ、而シテ鐵
 道ハ自分ノ益金デ其建設改良費ニ充テタモノノ償還ヲセシメルヤウニシテ經
 營シテ行カウト云フノガ、今日ノ鐵道特別會計ノ趣意デアリマスルカラ、之
 ヲ一般會計ノ資金カラ鐵道ニ支出シ切りニセズシテ、矢張り貸付ケト云フコ
 トニシテ、一方ニハ鐵道ハ自分ノ收益ヲ以テ建設改良費ヲ元利償却シテ行ク
 ト云フ精神ヲ貫カシメ、一方ニハ鐵道ノ爲ニ要スル資金ヲ確實ニ調ヘテ行カ
 ウト云フ、斯ウ云フ趣意ニ於テ今回ノ改正ヲ致シタノデアリマス、一般會計
 ノ金ヲ地方ノ災害復舊費等ニ貸付ケタ例ハ從前幾ラモアリマスノデ、已ムヲ
 得ヌ場合ニ於テ一般會計ノ歳入ヲ貸付ケルト云フコトガ全ク前例ノナイコト
 デモアリマセヌカラ、今回ノ經畫ヲ立テタノデアリマス、尙ホ鐵道ニ付テハ
 以前ニハ一般會計ノ歳入デ其建設費ヲ辨ジタモノモアルノデアリマス、ソレ

アル故ニ必ズ之ヲシテ宜イト云フコトデアアリマセヌガ、今日午前中カラ申
 上ゲタ通り鐵道ノ爲ニハドウシテモ益金以外ニ或資金ガ要ルノデアアル、其資
 金ハ今日ハ之ヲ公債募集ニ於テ調辨スルコトハ日本ノ經濟上不良ノ影響ヲ與
 ヘテ宜シクナイノデアアル、故ニ一般歳入ノ上カラ之ヲ貸付ケル方ガ、今日ニ
 於テハ最も適切ノ方法デアアルト云フヤウニ考ヘタノデアリマス、第二點ノ大
 正十五年マデニハ六億圓前後ノ公債償還ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居
 ルガ、唯今公債償還金ヲ減ズルト云フコトニスルニハ此十年間バカリノ間ニ
 大ナル外國ニ向ツテノ償還ヲ爲サナケレバナラヌコトガアルニ依ツテ、餘程妨
 ゲハアリハセヌカト云フ御憂慮ガアルニ付テ御質問ニナツタノデアリマス、是
 ハ私共モ同ジ事ニ付テ餘程考慮ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、大正十五年マデ
 ニ於テハ大ナル金額ノ償還期限ガ來ルノデアリマス、併ナガラ是マデ五千萬
 圓ヅツ償還スル、其前ニハ五千萬圓デハナカッタノデアリマスガ、免ニ角明
 治三十九年カラ國債整理基金法ト云フモノガ成立シテ居リマスガ、明治二十
 九年度ニ於テモ、四十年年度ニ於テモ、四十一年度ニ於テモ、四十二年度ニ於
 テモ償還金デ外債ノ償還ヲシタノハ殆ドナイノデアリマス、明治四十三年度
 カラ始メテ外債ニ向ツテ千萬圓償還スルト云フコトニシテ、其翌年度カラ遂ニ
 大正三年度前期マデハ其方針ヲ以テ進行シテ居リマシタガ、之ニ依ツテモ年々
 千萬圓ノ償還額デ、トテモ五千萬圓全部ヲ外國ニ償還スルコトナドニハ是マデ
 デモ實行イタシテ居ラナイノデアリマス、從來ノ如キ償還額ナラバ今回ノ經
 畫ニ依ツテ總償還額ガ三千万圓ニナリマシタ所ガ尙ホ之ヲ續ケテ行クコトハ
 出來ヌコトハナイノデアリマス、之ヲ爲スコトノ得失如何ト云フコトハ別問
 題デアリマスガ、出來ルヤ否ヤト云フコトヲ申上ゲレバ、三千万圓ニナツテモ
 是マデ通りノコトハ出來ヌコトハナイノデアリマス、何レニシテモ到底此大
 正十五年ニ期限ノ到來イタシマス所ノ六億圓前後ノ償還スベキ金額ニ付テ
 ハ、十五年マデニ償還シ終ルト云フコトハ、私共ノ考デハ到底ムツカシイト
 思フノデアリマス、從前ノ五千萬圓償還ノ經畫ヲ繼續シテ居リマシテモ、今日
 ノ三千万圓償還ノ經畫ヲ實行イタシマシテモ、何レニシテモ到底大正十五年マ
 デニ償還期限ノ到來スル國債ヲ悉ク償還スルト云フコトハムツカシイノデア
 ル、何レニシテモ是ハ借替ヘルノ外ハナイノデアリマス、其借替ヲ致スニ付
 テハ今日マデノ五千萬圓償還ノ經畫ヲ維持シテ、サウシテ一方ニ鐵道ノ爲ニ要
 スル資金ヲ新タニ募集スル、即チ公債募集ヲシテ、日本ノ公債ヲ一方ニ償還

シタヤウデアアルガ、他ノ一方ニ募集シテ、結局現存高ハ餘リ減ズル所ハナイ、
場合ニ依レバ額面トシテ増加スルヤウナ状態ニナル、而カモ募集スル度毎ニ
其發行條件ガ餘リ有利デナイト云フコトデアリマシタナラバ、益、日本ノ公債
ノ價格ノ上ノ信用ヲ害スルヤウナ状態ヲ呈スルデアラウト思ヒマスガ、左様
ナコトヲ致シタナラバ大切ナル償還期限ノ到來シタ時ニ借替ヲ實行スル上ニ
却ッテ長クナイト私ハ考ヘテ居リマスノデ、新シク公債ヲ募集シテ日本ノ公債
ニ惡ルイ影響ヲ及ボスヨリモ、今回ノ如ク改正シテ行ク方ガ十五年迄ニ期限
ノ到來スル大ナル金額ニ對スル借替ニハ却ッテ都合ガ好イト云フ見込ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、又目賀田男爵ノ第三ノ御質問デアアルト思ヒマスガ、斯様
ナ大問題ヲ此臨時議會ニ提出シタノハ如何デアアルカ、臨時議會ニ對シテハ二
個師團増設或ハ海軍問題ノミヲ提出スルガ相當デアアル、其以外ノモノマデ出
スノハ如何デアアルト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、併ナガラ今回ノ臨時議
會ナルモノハ普通ノ或目的ヲ定メテ召集ニナツタ議會ト違ッテ、衆議院解散ノ
後ノ特別議會デアッテ、初メカラ議會召集ニ付テノ問題ハ極ッテ居ラヌ故ニ、
豫算不成立ノ結果、今日ハ國費ノ上ニ於テ種々議會ノ協賛ヲ受ケナケレバナ
ラヌモノガアルノデゴザイマス、ソレ等ニ付テ此特別議會ニ協賛ヲ仰グト云
フコトハ是ハ至當ノコトノヤウニ考ヘテ居リマス上ニ、唯今申述ベマスル通
リ鐵道資金ヲ如何ニ調達スルカ、國債償還ノ經畫ヲ如何ニスルカト云フコト
ハ政府ガ増師問題其他ト共ニ衆議院ヲ解散スルコトヲ奏請イタシマシタ重モ
ナル事由ニナツテ居ルノデアリマスカラ、總選舉ノ後ノ此特別臨時議會ニ向ッ
テ衆議院解散ノ理由ノ一タル鐵道特別會計法ノ改正案竝ニ國債整理基金法改
正案ヲ提出シテ協賛ヲ仰グト云フコトハ、事態ノ上ニ於テ當然ノ事柄デアアル
ト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ少シ大藏大臣ニ伺ヒ置キタイコトガアリマ
ス、第一、一般會計ヨリ鐵道特別會計ニ貸付ケルノハ利殖デナイト云フコト
デアリマスガ、貸付ケルコトハ利殖ト同ジコトト思ヒマス、利殖スルノデナ
ケレバ、ナゼ貸付ケルノデアリマスカ、甚ダ私ニハ分ラヌ、第二ニ目賀田ハ
決シテ六億前後ナドトハ申シマセヌ、目賀田ガ計算イタシマシテモ六億七千
二百六十三萬圓ニナル、決シテ六億前後ナドト云フコトハ申シマセヌ、免ニ
角六億以上ノ高ガ多シ、書イテアル金ガ七千萬以下ニナルコトハナイ、前後
ナドト云フコトハ決シテ目賀田ハ申シマセヌ、國家ノ財政ヲ司ル大藏大臣ニ

於テ六億内外ニ互ル金ヲ唯前後ト言ハルル、是ガ自己ノ言ナラバ宜シイ、質
問者ガ言ッタ如クニ言ハレルノハ頗ル發言ノ重カラザルヤウデゴザイマス、
目賀田ハ決シテサウハ申シマセヌ、改メテ申シマスガ六億七千二百六十三萬
圓トナル、其中帝國政府ノ煙草專賣ヲ以テ擔保トシ、大正十四年ニ返還スベ
キ分ガ五億五千五百七十七萬圓アル、之ニ對シテ改正ノ如クンバ到底借替ヘル
ヨリ外ニ仕方ガナイガ、其借替ト云フコトガ困難デハナイカト云フ御尋ネヲ
シタ、此借替ノ手段方法等ニ付テハ敢テ申シマセヌガ、唯今ノ御答辯ハ目賀
田ノ質問ニ適スル所ハナイヤウデゴザイマス、唯今ノコトヲ繰返シテ申シマ
スガ、目賀田ハ六億前後ナドト云フコトハ決シテ言ヒヤセヌノデアリマス、
ソレカラ第三ニ臨時議會ノコトヲ仰セラルルケレドモ、是ハ將來必ズ……近
キ將來ニ鐵道ノ繼續費ノ追加要求ガ八億以上ニ上ルコトデアラウト思ヒマ
ス、ソレニ對スル經營方法ハ既ニ付イテ居ッテ、其案ノ提出ヲセラルルノガ普
通デアアル、免ニ角徐ロニ議サレタラ如何デアアラウカト云フコトヲ申シマシタ、
唯今言ハレタ如ク臨時議會ニ於テハ前ヨリ引繼キ解散ノ結果必要ナルモノト
見ナケレバナラヌ、ソレナラバ解散ノ結果須要ノモノナラバ、ナゼ鐵道ノ經
營ノ如キハ前ノ三億五千萬圓ト云フノヲ、ナゼ提出セラレナイ、又其一部ヲ
提出セララルルナラ三億五千萬圓ヲ基礎トシテ何ガ故ニ提出セラレヌカ、解散
ノ結果トシテ提出シタト言ハレマシタガ何故ニ一億千萬圓ト改メラレタノデ
アルカ、此三點ガ今ノ大臣ノ説明ニ依ッテ更ニ不分明ナル所デアリマス、尙ホ
一應伺ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 今ノ貸付ノコトデアリマスガ、私ハ其精神ヲ申
シマシタノデアリマス、鐵道ノ資金ガアッテ、已ムヲ得ズ一般會計ノ金ヲ以テ
之ヲ支辨スルヤウニ致シマシタノデ、趣意ハソコニ在ルノデアリマス、一般
會計ノ金ヲ利殖スル爲ニ鐵道資金ニ貸スノデハナイト申シマシタノデ、ソレ
カラ六億七千幾ラト云フコトニ付テ私ガ目賀田男爵ガ六億前後ト仰セニナ
タヤウニ申シタナラバ、ソレハ私ノ間違デアリマス、目賀田男爵ガ仰セニナ
ル六億七千幾ラト云フ數字ハ目賀田男爵ノ仰セニナツタ通リト思ヒマスガ、左
様ニ相成ッタ所デ先ニ私ノ説明イタシマシタ自分ノ意見ハ少シモ變化スル所
ハナイノデアリマス、財政ノ經畫ニ付テハ衆議院ノ反對ヲ受ケマシタノデ、
遂ニ解散ヲ見ルニ至リマシタノデ、其解散ノ理由ニナツタモノヲ提出イタシ

マシタガ、鐵道ノ經畫ニ付テハ午前ニモ申上ゲマシタ如ク三十五議會ニ提出
 イタシマシタ鐵道經畫ニ付テ、當時衆議院ハ既ニ之ヲ可決シテ居ラルルノデ
 アリマス、其經畫ハ衆議院ガ認メテ居ラレテ、其點ハ政府ト衆議院ト意見ヲ
 異ニスル所ガアリマセヌカラ、其經畫ノ全部ニ付テハ是認ヲ受ケテ居ルト了
 解シテ居リマス、唯豫算提出ニ付テ今回特別臨時議會ナルガ故ニ大正四年度
 カラ著手スルモノヲ出シテ、新案ハ次ノ帝國議會ニ提出シヤウト云フ考デア
 ルノデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第七、第八ノ特別委員ハ、第五、第六
 ノ委員ト同一委員デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記
 官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

治水費資金特別會計法廢止法律案外三件特別委員

- 伯爵寺島 誠一郎君 子爵牧野 忠篤君 子爵前田 利定君
- 子爵榎本 武憲君 男爵久保田 讓君 江木 千之君
- 男爵目賀田種太郎君 男爵郷 誠之助君 仁尾 惟茂君
- 石渡 敏一君 勝田 主計君 水野 鍊太郎君
- 田中源太郎君 土居 通博君 安田 善三郎君

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第九、大正四年勅令第十一號(承諾ヲ
 求ムル件) 衆議院送付、會議

大正四年勅令第十一號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送
 付候也

大正四年五月三十一日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正四年勅令第十一號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項

ニ依リ衆議院議員選舉資格ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正四年二月十三日

- 内閣總理大臣 伯爵大隈 重信
- 内務大臣 子爵大浦 兼武
- 外務大臣 男爵加藤 高明
- 陸軍大臣 岡 市之助
- 海軍大臣 八代 六郎
- 大藏大臣 若槻禮次郎
- 文部大臣 博士 一木喜徳郎
- 司法大臣 尾崎 行雄
- 逓信大臣 武富 時敏
- 農商務大臣 河野 廣中

勅令第十一號

本令公布ノ際衆議院議員選舉法第二十七條ニ依リ確定セル選舉人名簿ニ登
 録セラレタル者ハ同法第八條第三號ノ要件ニ異動ヲ生スルコトアルモ該名
 簿ニ依リ行フ選舉ニ限り選舉權ヲ失ハサルモノトス

〔國務大臣子爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵大浦兼武君) 唯今問題ニナリマシタ緊急勅令ノ事後承諾案
 ニ付キマシテ大要ヲ申上ゲタイト存ジマス、本年三月二十五日ヲ以テ行ハレ
 マシタル所ノ衆議院議員總選舉ニ付キマシテハ、曩ニ地租條例及營業税法ノ
 改正ノ結果トシテ、確定名簿ニ登錄セラタル選舉有權者ノ中、其納稅資格ヲ失
 フ者ハ甚ダ尠カラザル場合ニ立至ッタノデアリマス、而カモ營業税法ハ選舉ノ
 期日マデニ其稅額ヲ定ムルコトガ甚ダ不可能デゴザイマス、到底此儘ニ置イ
 テ選舉ヲ行ハムカ、所在選舉有權者ノ有無ニ原因シテ選舉訴訟ノ續々起ルト
 云フコトヲ甚ダ憂慮イタシタノデゴザイマス、是ニ於テ再ビ選舉ヲ行ハザル
 ヲ得ザルノ混雜ヲ見ルコトヲ甚ダ憂ヘタル所ヨリシテ、緊急勅令ヲ公布セラ
 レタル次第デゴザイマス、此勅令ハ本年ハ選舉人名簿確定スルマデ效力ヲ有
 セシムルモノデゴザイマスルガ故ニ、憲法第八條ニ依ッテ帝國議會ニ事後承諾
 ヲ求メル爲ニ提出イタシタル譯デゴザイマス、速ニ御協賛アラムコトヲ希望
 イタシマス

○男爵目賀田種太郎君 内務大臣ニ承リタウゴザイマス、簡單デス、營業税法ノ改正ハ緊急ノ場合ニ發セラレタル、即チ此承認ヲ求メラルル勅令第十一號ノ前ニ於テ營業税ノ改正ハ行ハレ居ル如ク思ヒマス、凡ソ法律ノ改正ト云フモノハ、其結果ハ改正ト共ニ當然生ズルモノト豫測セラルルノガ當然ノコトト思ヒマス、故ニ本員ノ伺ヒタイノハ、何故ニ當時法律ヲ發セラレタルトキニ此勅令ヲ要セラルルニ至ラナカッタガ、營業税ノ修正ニナリ減税ニナッタトキニ於テハ、其結果トシテ選舉資格ニ影響ガアルト云フコトハ分ルコトデアル、法律ヲ改正スレバ事實ガ從ツテ變ズルト云フコトハ當然デアル、政府者ノ職分トシテ當然分ルコトト思ヒマス、ドウ云フ譯デ其場合ニ法律ヲ發布セラレズ、營業税ノ改正アリタルト同時ニ、假令其案ガ衆議院ニ發セラレヤウト、政府カラ提出ニナラウトモ、其時ニ提出セラレズニ後カラ提出ニナッタト云フ理由ハ如何デスカ、ソレヲ伺ヒタイ

〔國務大臣子爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵大浦兼武君) 唯今御尋ネノコトハ、營業税法ハ御承知ノ通りスト前ニ改正ニナリマシタ、衆議院ノ選舉ト云フコトハ御承知ノ通り俄ニ昨年解散ニナリマシテ此場合デゴザイマシタカラ、其營業税法ノ改正ノ時ニハ、斯ノ如キコトガアラウトハ考ヘズニ私ハ居ッタノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 凡ソ法律ヲ改正スレバ、之ガ改正ニ伴フ總テノ結果ハ總テ伴隨スベキモノト云フコトハ大抵ノ法律學者ノ皆知ツテ居ル所デアル、後ニ衆議院ノ選舉ガ有ラウトモ無カラウトモ、法律ハ改正サレレバ必ず其變化ハ伴フベキハ當然デアル、唯今ノ御説明ノ如クンバ、政府タル注意ヲシナイヤウニ思ヒマスガ、サウデナイノデスカ

〔國務大臣子爵大浦兼武君御答イタシマセヌト述フ〕

○男爵目賀田種太郎君 唯今ノ質問ニ對シテハ説明ハナイノデスカ

〔國務大臣子爵大浦兼武君説明ハ致シマシテゴザイマスト述フ〕

○男爵目賀田種太郎君 説明ハナイト云フ内務大臣ノ言デゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 説明ハナイト云フ内務大臣ノ言デゴザイマス
○男爵目賀田種太郎君 是ハ本員ハ甚ダ不親切デアルト思フ、貴族院始マツテ以來、議員ノ正當ナル質問ニ對シ説明ヲセラレヌト云フハ、本員ハ解シマセヌ、非常ニ不正當ナル質問又不必要ノコトト思ヘバ……本院ハ法律ヲ制定スル院デアル、法律制定ノ府デアル、故ニ本院ノ當然ノ職分トシテ之ヲ伺フノ

デアル、御説明ハナイノデアアルカ更ニ伺ヒマス、今一應伺ヒマス
○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻目賀田男爵ニ申シマシタヤウニ、内務大臣ハ説明ヲ致サレナイト云フコトヲ申サレマシタ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)特別委員

- 伯爵吉井 幸藏君 子爵青木 信光君 男爵石黒 忠惠君
- 男爵山名 義路君 岡 喜七郎君 阪本 鈺之助君
- 橋本辰二郎君 福島文右衛門君 鈴木周三郎君

○副議長(侯爵黒田長成君) 明日モ會議ヲ開キマス、議事日程ハ追テ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ散會イタシマス

午後二時九分散會

